年中無休刊　大正八年二月二十四日　第四千九百十七號（一）

京城日報

發行兼編輯人 奧田直　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

二月二十三日夕刊（朝夕併せて八頁）

第四十一回帝國議會

貴族院本會議（二十三日）　穀物收用令存否論戰

午前十時開會徳川頼倫侯議長席に著き議員請暇の件を許可し大正七年度各特別會計歳入出豫算追加案審査期限を定むる件高橋藏相提案理由を説明し審査期限を定めず審査結了次第報告することに決し次に大正七年勅令三百七十三條承諾を求むる件（穀類收用令承諾を求むる件）說明委員附託　山本農相の說明に次いで石黒忠悳男、矢口長右衛門、楠本辰二郎三氏並に阪谷、高木兩男の質問あり農相例の『正宗の利劍』の答辯を爲し更に米は一石三十四圓乃至三十五圓を相當價格と認む米の消費額は平均一年一人一石一〇六升麥四斗なり内地産米に輸入米を合せて六千萬石あらば供給に不足を告ぐる事無からん尚米の外馬鈴薯の増殖を計り居れりと答ふ次に阪谷芳郎男政府にて供給充分なりとの確信あらば本令を繼續せずやと突込み農相供給力と米價とは一致せず今後萬一不祥事發生の場合を慮れば本令を存續すと答ふ大木遠吉伯然らば政府は本令存續を以て不祥事發生の際之れが豫防の確信ありやと追窮するや農相は他の萬一の場合を楯に取りて逃げ次に高木男の希望的質問あり十五名の委員附託となり其他の日程は缺席者多き爲め延期し同十一時十五分散會せり（東京特電＝輻輳延着）

衆議院本會議（二十三日）　提案一瀉千里＝多くはお土産議案

午後一時十五分開會　精神病院法案　床次内相登壇我國現在の精神病者總數は六萬餘人を數ふるが入院療養し居る者一千人に過ぎざる故に其保護治療及び危害防止の爲め病院設置規定を制定し其の缺陷を補はんとすと説明し次いで高木益太郎氏（國民）横山勝太郎氏（政友）等の質問あり内相池田國立精神病院設置の答あり十八名の委員附託　次に

地方鐵道法案
鐵道抵當法中改正法律案
鐵道補助法中改正法律案
郵便鐵道船舶郵便法中改正法律案
鐵道營業法中改正法律案

右諸案一括議題に附し床次鐵道院總裁提案理由を説明し一二の質問ありて二十七名の委員附託次に輸入工業保護の爲め關税改正に關する建議案外五案　右は何れも御土産又は當選御禮の議案にて議場退席者多し鈴木錠藏氏（政友）提案理由を説明し九名の委員附託

木曾川治水に關する建議案
能越鐵道速成建議案（西田鈴吉氏（政友）より）
日肥鐵道建設建議案（長峰與一氏（政友）より）
織物業組合及び貸耕作組合に交附金下附に關する建議案（小林源藏氏（政友）より）

右何れも委員附託報告あり可決　右は前項建議案に包含せしむる事に決し次に佐々木請願委員長より請願廿二件採擇の報告あり可決散會（東京特電＝輻輳延着）

◇平元線速成建議案委員會（廿二日）　滿場一致原案可決

午前十一時開會鈴木政府委員（度支部長官）より前回京畿、京釜複線計畫に就き總額四十七萬圓と答辯せるは建設費車輛費合計八千五百七十萬圓の誤りなりと訂正し次いで質問に入り

▲一宮房治郎氏（政友）　平元線の價値は吉會線の敷設に依り發揮さるべし吉會線契約の經過如何又此の沿線はテーブルランドにして工事殆んど不可能なりと聞く政府の所見如何

▲松田外務參事官　吉會線は四十三年の間島協約にて日本敷設權を得昨年六月借款假契約を了し一千萬圓の前渡金授受を了しも本年一月北京にて其内容に關する會議を開き目下進行中なり本線は吉林會寧間二百三十哩にて一哩平均三十餘萬圓工事費概算八千萬圓を計上す此の線の完成に伴ひ清津港の價値發揮さるゝ譯なるも支那政府にて何時開通せしむるや推定し難し故に本線開通の速成を前提として何等かの計畫を立てらるゝに於ては其の速成を保證し得る限りに非ずと答ふ次で

▲牧山耕藏氏（政友）　吉會線借款内容會議は現在幾許の程迄進行し居るやと問ふ之れに對し松田外務參事官第一回の會合は大體順序良く進捗せるを以て途中行惱む事無かる可し牧山氏尚々中に圓滿なる解決を見る事と解して可なるや松田參事官然り一宮氏工事開始期如何咸鏡線完成迄に開通の見込ありや松田參事官確定的に答へ得る限りに非ず

▲奧田龜造氏（政友）　吉林測量者朝鮮に入込みたりとの説あるが事實なるや

▲栗野外務事務官　支那政府にて吉林及び朝鮮の二方面より實査を爲したき希望を申出でたりと答ふ次いで平元鐵道敷設に關し大陸國防政策の上より當局の所見を叩く

▲山梨陸軍次官　本線は朝鮮一の兵器工廠所在地たる平壤と東海岸に聯結するを以て効果大なりと信ず牧山氏義州、羅南間を複線にする事と本線敷設と何れが價値ありや山梨次官若し釜山、奉天間全部を複線と爲すを得ば平元線を犠牲としても速成を希望すと述ぶ牧山氏吉會線の軍事的價値如何と問ふ山梨次官釜山、奉天間複線の敷設よりも一層速成の必要を認む牧山氏陸軍當局と總督府當局との答辯の内容に齟齬あるが如し如何

▲鈴木政府委員　總督府の希望として京義、京釜兩線を複線とし都合上十五年度より起工し度し但し安奉線が複線とならざれば効果無きを以て其邊協議中なりと前回に於て答へ置きたり牧山氏西伯利出兵輸送の際朝鮮の交通產業は少からざる打撃を受けたり大連線は打撃を生ぜざりしや山梨次官大連線は七師團の兵を輸送したるが當局は朝鮮滿洲兩線を用ひたり奧田氏吉會鐵道の進行に就きて陸軍當局の決心如何山梨次官外國對手なれば陸軍の希望通りに行かざる可し川崎克氏（政友）平元線建設の見積の基礎如何京元線は一哩十萬圓なるに平元線は廿三萬圓に上れるに非ずや鈴木政府委員右は平元線が難工事なると鐵價格の騰貴の爲めなり川崎氏鮮鐵投資額一億五千萬圓に對し純利益五百萬圓即ち三分三厘の利廻りなり之にて事業公債募集は困難ならん鈴木政府委員目下鮮鐵に六分の納附金を受け居り財政に影響を與へ居らず平元線も六分を越す見込なり川崎氏輕便鐵道補助費四十六萬圓に急增せる理由及び補助歩合如何と問ふ鈴木政府委員鐵原、金剛山間其他新線に對し新會社の出願ありたる爲めなり歩合は内地五分なれど朝鮮は七分なりと應へ之にて質問を打切り滿場一致原案を可決し午後一時散會せり（東京特電＝輻輳延着）

◇獨外相外交政策　國民議會に於ける演說

獨逸外相は十四日國民議會に於て外交政策に就き大要左の如き演説を爲したり（某所着＝東京特電）

獨逸は任意其の設備を解除しつゝあり聯合國は講和會議にて解決すべきものを休戰條約に關聯して解決せんとするより之を拒絶せり獨逸より商船全部を除け國際聯盟に加入せしめんとする、商船の獲得を阻止せんとするものなれば承諾する能はず獨逸は植民地經營に就きて適當なる前に與かるべき權利を有すバイエルン、ハインツはアルサス、ローレンに併合せんとするは獨逸を永久に仇敵たらしむるものにて到底承認する能はず同州の將來は州人にて決すべきものなりポーランドは依然獨逸に屬す講和會議に勞働者の利益保護の規定を爲すことは賛成す獨逸は國際聯盟の構成に協力せんとする決意を有す唯單行機關に參與するを欲せず

◇過激派クラスノヤルスク占領

クラスノヤルスクを占領せる爲めカンス齊多來電に依れば過激派はクラスノヤルスク、オムスク間の交通杜絶せり（東京特電）

◇總督府令改正

大正八年同府令第十六號中改正の件、大正二年朝鮮總督府令第六十五號中改正の件廿一日附官報にて公布さる（東京特電）

第四十一議會植民地問答（三）

第四十一議會の本會議、豫算委員會等に於ける朝鮮滿洲其他植民地並に直接地方に關係せる質問應答の中重要なるものを掲ぐ。必ずしも前後の順序に次第を附せず（東京支局）

□開墾助成法案と朝鮮（一）　＝衆議院開墾助成法案委員會にて＝

▲委員長（田中隆三氏）　是から開會致します、農商務省の政府委員は今一寸差支へるさうでございますけれども、朝鮮總督府の方は見えて居りますから、牧山君の御質問あることゝ云ふことでございますから、丁度牧山君の順番になつて居ります——牧山君

▲牧山耕藏氏　此開墾助成法の參考材料として『本邦食糧自給に關する將來の見込』と云ふものを御配付になりましたが、此裏で見ますると十年後、二十年後、三十年後に分けて有りまして三十年後に於ける人口の增加が三千九萬人で、之に對する米の消費量の增加が三千六十九萬石、斯う云ふ數字が現れて居りまして三十年後に於て朝鮮臺灣の餘剩移入の見込が七千七百萬石と出て居ります、現在に於てもさうでありますが、將來に於ても朝鮮米が我國に於ける米の不足を補ふ重要な部分になると思ひます、農商務省の政府委員に伺ひますよりも、直接朝鮮總督府の政府委員に朝鮮の產米增殖の御方針を伺ひたいと思ふのであります、來年度の豫算の諸り大正八年度の豫算には十五萬圓と云ふ金額が、水利事業の工事の補助費として提出されて居りますが、此内容を伺ひますると朝鮮總督府に於きましては向ふ十箇年間に十萬町歩であつたと記憶致します、水利工事の補助が十五萬圓計上されて居りまして、其大正八年度に於ける第一期工事を起さして之に對して一割乃至一割五分の工事補助費を與へらるゝと云ふことでありますが、之に關する御説明を乞ひ、更に將來開墾水利及金肥を施すことに由つて朝鮮の產米が、どれ位增加致すでありませうか、此點に付ての御方針を簡明に伺ひたいと思ひます

▲政府委員（鈴木穆氏）　唯今牧山君より米の供給に付て、内地及植民地、殊に朝鮮の增殖計畫に付ては重大なる關係があるから説明を受けたいと云ふ御話でありましたから、大體を申上げやうと思ひます、朝鮮に於きましては一般の施設の方針の一つと致しまして、殊に農事の奬勵を以て、重要なるものと致して居ります、故に或は品種の改良、或は農事の改良進歩と云ふ事に付ては、出來るだけの施設を講じて居るのでありますが、それが水利、灌漑の便に依つて增收を圖ると云ふ事に付ての大體を申上げます、第一の耕地反別の增加と云ふ事に付きましては、國有未墾地利用法と云ふ法律に基きまして、國有未墾地を開墾する希望者があらば、之に相當の條件の下に開墾を許し、其成功後に於て開墾者に貸下地を下付する、斯様に致して居るのであります、是まで此法律に依つて許しました面積は約四萬八千五百餘町歩になつて居ります、是は國有地を有利なる條件で許して居るのであります、五六萬町歩ありますが第二の水利の事に付きまして、唯今牧山君から御話のありました八年度以降の計畫に付て、簡單に申上げて見たいと思ひます、總督府に於きましては、三四年前から全國の主要なる水利地點を調べまして、適當なる水利組合の設立が適當と云ふ所を計畫調査致したのでありまして、それが凡そ二十餘箇所の開墾又は增收の希望の在る所を調査致して居りまして、其中特に現今の地價及色々の事實に依つて見まして、有利に開墾の出來る場所と云ふものを探り出しましたのが、約十萬六千町歩に亘つて居りまして、其開墾費が先づ其當時の調査に於ては約二千萬圓、今日に於きましては二千五百萬圓にも當るだらうと思ひます、仍て先づ是等の地點に對して水利組合の設立を促し、計畫を立つたんでありますから、一割五分までを補助しようと云ふことに決めましたのであります、尤も政府の調査致しました水利地點以外に於ても、更に有利なる場所もありまして、是に對しても同一なる保護を與へるのであります、尚ほ比較的小工事に付ても、二百町歩以下の區域を持つて居るものは國からは補助致しませぬが、地方費から補助致します右申しました如き、補助金を出す外に本年度より特に技術者を增して、苟も水利組合の設立の計畫ある者にして、其水利事業の調査をする、計畫を政府に希望して申出る者があるならば、政府は進んで經費と人の手の許す限りは調査をしてやらうと云ふ見込であります、之に依つて一面には水利工事の補助を致し、一面には水利の計畫調査を政府からしてやることにしたならば、從來事業が捗取るだらうと考へて居ります、で大體右のやうな計畫を以て進んで參るのでありますが、固より確實なことは申されませぬが、農業技術者の調査致しました所に依ると十年後に於ては約二百八十萬餘石の增收となる見込であります、最も是れは少し確實過ぎまして、餘り見積り過ぎたかも知れませぬ、是よりも殖えることかと思ひますが、斯様になつて更に又今少しく進んで各種の施設をするものと假定する時には前申上げました如き奬勵方法より限りに三十年後はどうなるかと云ふと約千六百萬石の增收を得ると云ふ見込になつて居ります、是は洵に唯見込であります、ほんの御參考に申すに過ぎないのでありますから、其積りで御聽取を願ひます、大綱右に御承知を願ひたい

◇遞相出張辭令

廿二日左記の通り辭令ありたり（東京特電）

朝鮮へ出張被仰付　遞信大臣 野田卯太郎

◇平井顧問通過

支那政府鐵道顧問工學博士平井晴二郎氏は二十三日朝釜山上陸午前十時三十分發列車にて北行せり（釜山特電）

◇支那學事視察團

内地小學校教育其他學事狀況を視察し歸國の途に在る支那師範學堂教諭一行十八名は二十三日朝釜山入港の新羅丸にて上陸直ちに北行せり（釜山特電）

◎國葬參列指揮官參謀

二十二日附官報を以て左の如く發表せられたり

陸軍中將 宇都宮太郎　李太王葬儀參列陸海軍諸兵指揮官被仰付
陸軍少將 大野豐四　同參謀長被仰付
陸軍步兵中佐 山本鶴一　陸軍砲兵大尉 上村清太郎　同參謀被仰付
陸軍步兵少佐 田崎孝三郎　陸軍步兵大尉 古城胤秀　同副官被仰付

◎煙草不足原因

東亞煙草會社製煙不足の聲市場に高きが右に付同社當局は曰く各工場の製造能力は職工原料葉並にその他の需要なる理由により擴張し能はざるに一方需要は地方農村の好景氣より來る增加西伯利出征軍への供給あり二割强を增加せるため市場不足の聲を起したるものなれば現狀止むを得ず尚ほ會社としては西伯利方面より貴の註文殺到するも右の如き事情により之れを引受け得ず更に滿洲方面より西鮮方面には現品の買附け入り込みつゝある模樣で一層品不足の聲高きものゝ如し

◎軍司令官表弔

子爵任善準氏逝去に就き宇都宮軍司令官は二十二日古城副官を代理として同邸に差遣弔意を表したり

◎京城手形流通と支拂場所（二）　＝記載事項と信用系統＝

約束手形は前回にも説明せる如く要式證券にして法律に一定せる事項を必ず漏れなく記載しなければならぬ商法第五百二十五條に約束手形には左の事項を記載し振出人之に署名することを要す即ち（一）其の約束手形たることを示すべき文字（二）一定の金額（三）受取人の氏名又は商號（四）單純なる支拂の約束（五）振出の年月日（六）一定の滿期日（七）振出地とあつて之れ丈けは若し書き落せば其の手形は手形たる効力を有せざることになる

▲爲替手形に　支拂地を記載せざりし時は支拂人の氏名又は商號に附記したる地を以て其の支拂地とすとありて之を記載せざる場合の規定を設けてあるが支拂場所に就いては第四百五十四條に振出人は爲替手形に其の支拂地に於ける支拂の場所を記載することを得とあるのみで之を書き入れる事は振出人の勝手たるべしと言ふ意味に聞ゆる之に就て學者は本來約束手形金の支拂は振出人が振出地に於ける營業所住所又は居所に於てすべきこと當然であるけれども時として其の支拂地内に於ける他の場所に於て支拂ふことを

▲便利とする　ことがあるから其れを慮つて支拂場所の記載を許したのであつた若し之を書き入れたならば手形の所持人は其の場所に至つて支拂を求めなければならぬ此等は任意記載事項であり手形の偶素であると説明して居るされど之れは法律の見地から正當であつて經濟眼から見れば非難すべき解釋である第一手形金の支拂は振出人即ち債務者の居所住所又は營業所に於て支拂ふを當然とするのは民法上の原則であり或は商法上の原則かも知れぬが手形に在つては經濟上銀行を支拂場所とするのが當然であり原則である

▲任意の記載　事項とするのは經濟上に於ては缺くべからざる要素で必ず何々銀行なる文字を記入しなければならぬ其の理由を左に少しく説明して見よう法律學者は手形は一の信用證券なりと無造作に説明するけれども經濟學者は交易篇中價格價値貨幣貿易等と相並んで信用なる系統を本として研究して居る重要なる一項目である然らば信用系統とは如何なるものを指すかと言ふと信用證券行券銀行と相關聯した項目の謂である換言すれば銀行を中心として活動する信用の一系統を斬く名付けるのである即ち

▲經濟社會　を輾轉する手形は必ず一度は銀行なる信用機關に流入して決濟せられ更に新なる信用となつて流れ出るを原則とする有樣は恰も吾人の身體を循環する血液が一旦身體を環り終れば必ず心臟に還り來り新鮮なる血液となつて更に流れ出るが如きもので若し此の系統以外に手形が流通するならば其れは變則の流通であつて必ず原則に復歸せしめねばならぬものである（京城商業會議所調査）

◎鐵道隊長春通過

鐵道院隊 藤技師外技手二名職工五十二名の一行西伯利に向け二十二日朝長春を通過せり（長春特電）

◎秋山大將來鮮

李太王殿下國葬の際陪從將官として來鮮すべき秋山好古大將は二十六日東京出發二十八日午後九時二分龍山驛着入城の旨其筋に通知ありたりと

◎宇都宮中將歸期

宇都宮軍司令官は釜山兵站狀況視察を了へ二十四日午後九時二分龍山驛着歸任の豫定なり

八面鋒

◆吾人は嚢に、日本は國際聯盟成立と共に、孤立の位置に陷るべしと述べたり。即ち執行委員會の多數決は、日本の爲に無上の不利なりと主張せり。奚ぞ知らん、今日の講和會議場に於ても、日本は既に業に多數決難に遭遇せんとは。外電は日本の提出したる、人種的差別撤廢案否決の模樣を述べて曰く。結局日本委員は、行儀よく列國委員の意見に、服從せざるべからざる事となれりと。一見何等の異情を感ぜずと雖も、行儀よく列國委員の意見に服從の止むなきに至りたるは、即ち多數決の結果を示せるものに非ずや。

◆然り我委員の重大案として、提出したる、人種的差別撤廢は、五大强國中、米國の賛成を得たるも、英、佛の反對に遇ひ、伊國の可否未定に依て、賛否相半せり。茲に於て伊國がノーと呼ばんか、遂に該案は、我委員の如何に强主張をなすも。闇より闇に投入せらるゝは明白也。而も伊國の態度に、懸念すべきものありやと云ふに於てをや。萬事此の調子にて進めば、我に必要なる提案は、何時も多數決難の爲に、無慙なる最後を遂ぐべく、斯くても未だ、日本は孤立の位置に陷らずとなすか。

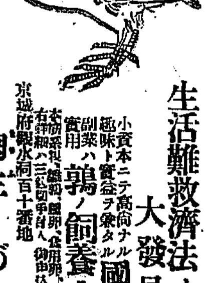
◆政府は外人土地所有權に對して調査を進めつゝあるが如し、之れ何と云ふも、少くも其の結果に於て、最も密接なる影響あるは、人種的差別撤廢問題とは、無關係なりと吾人の信ぜざるを得ざる處也。我國が斯の如くして、門戸開放主義の政策を取らんとするに對して、果して各國が我誠意のある處を、了解するや否やは、未だ疑問たらざるを得ず。何となれば米國の如き、日支兩國民の移住問題を、仲裁々判に附するさへ、危險此の上もなしとして、國際聯盟に反對の聲高き、今日に於てをや。

◆選擧法改正案は、樞府をも事なく通過せり。時代の大勢は隻手を以て堰き止むべきに非ず。時代の要求に聽ける樞府は、自ら賢明なる道を選べる也。

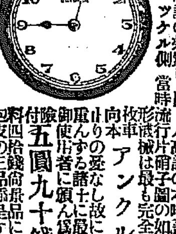
◆富豪田中銀之助の令孃、當年十九歳にして容貌美也。忽如行方を晦まし、世人の耳目を驚かせり。而も其の相手が、自動車の運轉手なりとは、益々以て好事家の評判を緊自也。生活難の叫聲高き今日、嚢に芳川鎌子あり、華族富豪の令孃と運轉手、世の中は能く出來たものの也。

金ペンの氣持よく走る心地と体裁の良い萬年筆はパイン萬年筆に限る
最新型總金飾 八圓八十錢・六圓八十錢・四圓九十錢
實用向 三圓八十錢・二圓八十錢
學生用 一圓八十錢
ビジネス（九十五錢）
發賣元 京城日報代理部 振替京城三〇番

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勤業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
京城南大門通二丁目 株式會社 朝鮮殖産銀行 頭取 三島太郎
支店 開城、淸州、忠州、公州、鳥致院、大田、論山、江景、春川、鐵原、江陵、全州、裡里、井邑、南原、光州、木浦、麗水、濟州、晋州、大邱、浦項、金泉、尙州、釜山、馬山、統營、密陽、海州、沙里院、平壤、鎭南浦、安州、義州、新義州、博川、宣川、元山、咸興、北靑、淸津、鏡城、城津
右の外内地朝鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候


生活難救濟法ノ大發見!!
小資本ニテ高尙ナル趣味ト實益ヲ兼タル國産的副業ハ實用鶉ノ飼養ニ限ル
京城府觀水洞百十番地 鞠生うづら園

＝必勝の好機＝
外米輸入難の虞を懷かんとする惡辣なる取引は代用制を閑却せる感あり之れ既に變態にして單に利己的偏見而已。市場の在米寡少なる時は外米減少の機に乘ずるは永く硬派の横暴を許さじ殊に目下正明確實思想の合致する所以なり茲に第十五回を組織す志士夫れ起て一面巨額の利勝を收め兼て同胞怨嗟の聲を斷て。
第十五回 期米賣同氣會
■申込期間三月七日迄 ■加入金一口參拾圓（證券代用不苦）
日本信託證券部
大阪市北區堂島濱通一丁目二二四番 電話北長一九〇〇番 振大四〇五六九
會則説明書贈呈


純舶來 時計 廉價景品付責任販賣
實用 懷中時計
時間正確ならざれば時計の効無し、目下大高評の本時計は斯界に名高き瑞西時計會社特製ニツケル側
向本 枚車 アンクル
堅牢進振形機械は最も完全なる本品に最適品なり一時間を重んずる諸士に最適品なり
責任 保險 證付
代金五圓九十錢 送料三十錢
大阪南區高津町 常盤號

（南大門行）　大正七年七月一日改正現行

◎兩殿下御感泣
前例なき近衛兵御差遣の御沙汰を拜せられて

故李太王殿下御葬儀に際し特に近衛兵御差遣の御沙汰ありたるは既報の如くなるが右に就き李王職武藤庶務課長は聖慮の深きに感泣しつゝ語る『故李太王殿下國葬につき恐れ多くも優渥なる御沙汰を拜し唯々感泣の外はない李王世子各殿下を始め御親戚一統の御感激は云はずもがな殊に今回は曾て前例なき儀仗兵を近衛聯隊而も世子殿下が日常御教育の第二聯隊より御差遣相成る旨御沙汰があつたので兩殿下の御喜びは又一層と承はる兎に角吾々は此の優渥なる御心を一般民衆殊に鮮人に充分徹底せしめ度いと思ふ尚近衛儀仗隊を統率すべき藤田消聯隊中佐は寺内前總督の副官たりし事あり朝鮮とは緣故極めて深き人なり』

▽小宮氏參列
前李王職次官小宮三保松氏は國葬參列の爲め近々東京出發渡鮮の旨某所に通知ありたり

▽進香の儀 李王御親修
李王殿下は廿三日正午より德壽宮に於て引續き李太王殿下梓宮前に於て二十五品の供物を供へ進香の内儀を執り行はせられたるが官民多數參列せり尚ほ世子殿下は廿四日李堈公殿下は廿五日李鍝公殿下は廿六日各正午より同じく進香の内儀を取り行はせらるべしと

◎東京 奠都五十年祭
來る八月頃市制卅年記念を兼ねて盛大に擧行

維新の大業成り先帝皇居を東都に遷し給ひてより五十年の星霜を閲したと言ふので東京市に於ては昨年大々的に奠都五十年祭を擧行する筈であつたが歐洲は大戰中であり皇軍亦威武を西伯利に燿すこと事となつたので遂に立消ゑとなつた然るに今や平和克復して ◇歡聲世界に 洽きに至つたので大祭復活の說が再び持上り數日來市會各派に於て寄々協議中の所恰も今年は市制布かれて滿卅年に相當すると言ふので愈双方を兼て七月の遷都記念日或は八月の市政記念の孰れかを選び盛大なる祝賀會を催すことに内定したが ◇會場其他は 尚未定であるが御大典奉祝の催しに倣ひ上野博物館を會場に充てんとの說も高く當日は天皇皇后兩陛下の行幸を仰ぎ各宮殿下を始め奉り各大臣各國大使貴衆兩院議員各府縣知事府縣會議長其他遠く朝鮮臺灣等の高官を招き市長より ◇賀表を捧呈 する事となるべく市中に於ては旗行列提灯行列は無論各方面に於て花火を打揚げ山車其の他の各種催し物も出來る丈賑やかにし夜は花電車を運轉する筈である(東京)

◎疑獄とは大仰だ
然し多少の事實はある
長春不詳事件眞相
都督府警務部 石黒高等課長談

長春の小疑獄として社會の問題となりたる陸軍特設米機關の不正事件につき都督府警務部高等警察課長石黒憲兵少佐は二十日夜長春に來着、各方面に亘り精密調査を遂げたる結果二十二日午後三時警務署樓上に各新聞記者を招じ其の眞相を發表して曰く『當地の疑獄事件に就ては滿鮮竝に内地の耳目を聳動せし事甚だしく議會の問題にまでならんとせしが余も亦當地より來る報のみにては徹底せざる點ある爲め二十日夜來長直ちに憲兵及び警官の應援を請ひ可及的精査を遂げたるに事實は

◎疑獄と稱する程に非ず

殆ど問題とならざる小事件なること判明せり即ち驛頭に引取人なき軍需品として來りし白米數千俵ありといふは兵站部にて借り居る驛倉庫の一部に食糧保管し在り常に出入せざる爲め是れを知らざる一驛員が驛倉庫の不足せる際必要ならざれば返還すれば宜からんと何氣なく云ひたるを將校が聞き其の中には白米數百俵保管し在り到底斯く不用となる見込無しと云ひしを意外にも誤傳されしものなり又某佐官の不相應に遊興し甚だ不謹愼なる振舞ありしことは事實なるも其の費消金に就ては毫も不正なることは斷言し得るなり

次に輸送關係に就ては 南滿線と其他との連絡に於ける商人對官憲の關係に微々たるものにて非難線を連絡する事は付上注目の焦點となり居れるも世間傳ふる如き大規模の事は爲す能はず調査の末是れ亦何等得るところ無かりしが其際大連より齊々方面に送るべき酒保品二百數十行李中婦人用反物化粧品八分通りあり實際の酒保品は約二分通りより無かりしことを發見せしより該品を保管し置き關係商人を旅順へ致し取調ぶる筈なるが是れとて余が試みに荷を開き始めて發見せし始末にて軍隊側にては全く關知せざる事なれば此くの如く商人が種々の手段を以て

係官を欺き不正利益を

得しものあらんと當地にては陸軍側に大疑獄と云ふこと無し小事件に關し軍法會議の取調べを受け居れるもの二三名あり要するに世間の云ふ疑獄なるものが如何なる程度を持すか知らざるも余の見るところにては實に微々たるものなることを言明して憚らざると共に假令内容薄弱なりとも世間に流布せられたる不祥事實の存在することは甚だ遺憾にて當局にても極力

刷新に着手し居れり』

と尚ほ同氏は二十三日夜發の列車にて歸任の筈(長春特電)

◎歐米航路運賃
競爭益々劇烈

商船會社の歐航開始と歐洲海運の復活によりて一千一志より一二〇[illegible]盟各社が日英運賃を百二十志に引下て載貨の吸收に努めつゝある爲め商船會社に於ても之れと[illegible]の郵船會社に於ても亦百二三十志に引下げて荷主の結束に努力しつゝあるが如く之れが爲め歐[illegible]く此儘に推移するに於ては戰前の五十志の出現は不可能なりとするも接近は或は遠きに非ざるべく一方北米運賃も近來非常に低落[illegible]賃は目下五六弗を唱へ居れるが社船側に於ても之れと均衡上現在の臨時船協定運賃大口物十五弗雜貨[illegible]米航路界の成行如何は海運界の興味ある問題たるべし

◎東伏見宮 御著述
御渡歐の記念

重大なる使命を帶び英國皇室を御訪問、海陸萬里、前後約五箇月の御旅行を終らせられ御歸朝あらせられし東伏見宮殿下には今回の御旅行の御見聞並に御感想を ◇御記念 著書として出版あらせらるゝ事となり目下其の御著述に從事あらせらるゝ由殿下は西事總て御明敏にて海軍式即ち數理的の御觀察明敏に渡らせらるゝ事大正の有栖川宮殿下と殿下を譬り參らす總ての者に仰がれ給ふ程にて ◇英國に は前年ジョージ五世陛下の戴冠式にも御參列あり今回は二度目の御渡航なり佛、白耳義、伊太利等歐羅巴大陸の主なる國々をも殘らず御訪問あり其他米國は往復兩度の御通過なり ◇航海中 の朝夕の御感慨に加ふるに記念の御寫眞は恐らく網羅さるゝ筈にて要するに五ヶ年に亘る世界大戰の結末期に於ける世界一週の記録にして且つ最新全世界の的確なる報告書たるべき御著書なり

日本刀
◎佛飛行將校に 陸軍省から贈る

飛行術教授の爲め來朝中なる佛國飛行將校砲兵大佐フォール氏以下二十三名の歸國に際しては陸軍省より記念品を贈呈する計畫ありしが協議の結果我國武士道の精神たる日本刀を贈ることに決し夫々同省内の刀劍師に委託製作せしむることゝなりたり右は記念品なれば勿論精巧を極め刀身鞘其他總て秀逸のものを作する由にて佛國中央大學に入學の爲め佛國政府よりの命令に依り去る二十日歸國したる兵中尉アタッス氏に對しても同樣是れを贈るべし尚ほ一行の歸國に際しては來朝中の功勞を思召され或は叙勳の御沙汰あるやも知れずと(東京特電)

◎文展日本畫 大動搖か

廣業氏の逝去に依り文展日本畫部に大動搖を免れざるべく殊に東京側の青年畫家が蒙る打擊は甚し少ではあるまいと言はれて居る右に就き事情に精通せる某氏は曰く由來文展には京都と東京との ◬勢力爭ひ がある此間に在つて東京側の爲に鬪つたのは廣業氏で第一回の文展以來實に嚴正なる態度を執つて居た此處が京都側に恐れられ東京側の青年畫家に信頼された所以であるだから氏の死によつて當然起る可きは京都側が更に跋扈を逞しうするの一事で東京側の ◬青年畫家 は立つ瀬が無くなる審査員として廣業氏の後任は結城素明氏に決定して居る由だがあの人も京都系の人だから東京の青年畫家をして結束して反文展の勢を揚ぐるに至らしめないとも限らぬ孰れにせよ今秋の文展日本畫部は一大動搖を免れぬと觀なければならぬ

◇暖かき光に唄ふ春の鳥◇

ほんとの春が眼いぱい程に微出したまだ殘つてゐる薄氷は野原に解けて

◇獻上の造花◇

東京女子職業學校では此度兩陛下に造花を獻上する事となり生徒は齋戒沐浴して是を謹製した寫眞は謹製中の光景である(東京支局撮影)

◎勤務演習召集年次

本年度演習召集簡閲點呼參加願出に關する心得は既報せしが更に召集年次を示せば左の如し當該者は願出の期日(三月一日迄)を誤らざるやう注意すべし

▲各兵科上長官(後備役)大正六年(後備役)大正六年▲各兵科士官(後備役)明治四十一年、四十四年、大正三年、六年▲各部士官(後備役)大正六年▲一年志願兵各兵科士官(後備役)大正三年、五年、七年▲同各部士官(豫備役)大正三年、六年▲各兵科特務曹長(後備役)明治四十一年、四十四年、大正三年、六年年次召集▲各兵科下士(豫後備役)明治三十五年三十八年、四十一年、四十四年、大正三年、六年(後備役次に豫備役に編入の者▲各部准士官下士豫備役 陸軍間適宜の年次に召集▲歩兵卒(豫備役)大正元年、三年(後備役)明治三十九年、四十二年▲騎兵野山砲兵重砲兵工兵輜重兵卒(豫備役)大正二年(後備役)明治三十九年、四十二年▲衞生部(豫後備役)明治三十八年、四十一年、大正二年▲歩兵野山砲兵工兵、輜重兵、補充兵)大正四年、六年▲對馬警備隊(歸休兵)大正五年▲歩兵看護卒(豫備役)大正元年、三年(後備役)明治三十八年、四十一年

尚未教育者の補充役者の點呼は左の年次の者點呼執行せらるべし

明治四十二年、四十五年、大正四年、大正七年

◎慶北から 西間島に
數百人移住

近來朝鮮各地より西間島に移住する鮮人多く殊に慶北河道慶山地方よりは數百名の鮮人移住したるが右に就き一旦間島に移住し初期の目的外れて引返せる一鮮人の語る處に依れば西間島へは相當の資本を持つて行くものは別として少資本及び空手にて赴くが如きは無謀も亦甚だしきものにて結局憂目を見る者なり同地は物價高く惡疫一食卅錢を取り寒、嚴しく氣候不順にして殊に婦人病盛んなれば婦人にして風土病に冒され死去するもの續出せりと

◎連絡船上陸客

廿二日[illegible]

一等[illegible]田尚、土木義雄、鈴木つし、祖架亭、村克一、大島嗣、松田定次、同かき、相田忠雄、仲森雄、扇井かめ、河野仁五郎、同みわ、山村幸吉、同りう、同ふさ、後藤進、同[illegible]松田五郎、日高清[illegible]

二等[illegible]內川信一、大野宗次郎、大信元平、同[illegible]わ、猪飼吉太郎、照郎治郎、津田長三郎、同久、同正太郎、同文子、十倉金丸、坂井中市、小川彫、永井顏次郎、正久源一郎、[illegible]三郎、同とみ、金淑子、金[illegible]

三等(十六名)水清子德、二宮精次、近藤正毅、小田榮太郎、同ます、永島岩吉、[illegible]見俊一、同令夜、[illegible]

▽更に膺懲の師を起さん
佛國側大いに敦圍く

クレマンソー氏を狙擊したる兇漢が愈獨逸の暗殺團の一人なることが確實となりし曉は佛國は直に休戰條約の破棄を要求し獨逸を攻擊すべしと(某所着東京特電)

◎獨逸から派遣した
暗殺團の一人か
佛國首相を狙擊した兇漢

クレマンソー氏狙擊犯人ゴートンの經歷は祕密に附せられ居る彼は狩獵者にして無政府主義者なりと自狀せり紐育タイムス及びヘラルドに達したる電報に依れば彼は獨逸側より派遣せられたる暗殺團の一員なるが如く其の諸他の逃生の者と察せらる(某所着東京特電)

◎日曜の展覽會
技藝學校の賑ひ

西小門女子技藝學校の生徒製作品展覽會は二十三日も引續き開催されたが朝來の好晴に阿母さん姉さん達が人波を打つて入場し午後一時迄に無慮六千を越したと云ふ位で賣品價額も概算七百圓には達した三千餘點の賣品は九分通り賣切れた相である、刺繡の參考品として展覽された古典品の前に井上校長は語る『刺繡は元來華美過ぎるあまりに紅紫絢爛な點が稍遺憾に思はれた、今度は清淡古雅と云ふ味を出す企てで常信や一蝶などを參考にしました經費や其他の關係で充分な香料を得て研究の出來ぬ事は殘念ですが職員生徒達の努力であれだけ纏め得た事を愉快に思つて居ます』門前に居る風船賣りの長閑な笛が響いて居る

◎葛目氏拘引
誣告罪で永興へ

元山商業會議所評議員にして當地木材商に於ける錚々の一人たる市內州[illegible]番地大二商會元山支店主任葛目猛男は二十一日突如として咸興地方法院永興支廳檢事分局より令狀を執行され同夕發列車にて永興へ向け押送されたり事件の內容は詳細知るを得ざれ共聞く所に依れば同氏は先般永興在住某氏を相手取り同地方法院支廳に告訴を提起したるに對し被告たる某氏はその告訴を虛構の事實なりとし却つて葛目氏が誣告罪に問はれて令狀を執行さるゝに至れるものゝ如し(元山)

◎久見合丸遭難

大阪商船會社汽船久見合丸(六百噸)は群山港より穀物を積載して大阪に直航すべく十九日群山港沖合五十浬の海上に差し懸りたる所機關に故障を生じシャフト折れて航行不可能となり同沖合を漂流中折善く大阪怡豐洋行の汽船第一富美丸(九百八十噸)が航海し來れるに遭ひ救ひを求め同船に曳かれて二十一日午後一時漸く木浦に入港せり

◎漢川の火事

去る二十日午後三時頃平南平原郡漢川面廿八里金召史方より出火し折柄の西風にあふや大事に至らんとせしが所轄憲兵駐在所員及び消防組等逸早く驅け付けたると幸ひ晝間なりし爲同家全燒江崎某方半燒にて同三時四十分鎭火せしが原因其他詳細は目下取調中(鎭南浦)

歸宅 瀨戸病院 瀨戸潔

◎第三鶴丸難破

濟州島の帆船第三鶴丸(百五十石積)は去る二月一日午前六時木浦港を出で濟州に向ふ途中甫吉島の南約五浬の沖合にて颶風に會ひ檣舵を失ひ航行の自由を失ひ二十日間漂流し四日に至りて濟州島左面下道里海岸に吹きよせられ乘組員は無事なるを得たり

灯ともし頃

▲先夜當驛を通過北行した西伯利派遣の鐵道技術者が宇品港から御用船に乘込み關門海峽を夢の中に通過してふと眼を醒ますと船は玄海灘の唯中を黑ずんだ波に搖られながら走つて居た ▲醉はないつもりで居た一同は幾等か船暈を催して來たのでソット詰め込んで來た水筒の酒を呷りながら常陸丸がやられた所は何處だらうなど、語り合つて居ると ▲コツ〳〵と掛つたは『瑞少佐戰死』の無線電信であつた一同船暈も酒の醉も一度に覺めて『エ、畜生!』

◎松本製作所の開店

元於義洞公立工業學校に教鞭を執りたる松本一記氏は今般府內本町三丁目に於て學校用理化學器械及び家具裝飾品の製作に從事する由

毎週ホンチ
雛風呂 助太郎

◇桃の節句が近いたのでべそ子は去年の古雛を出してから見たが大變雛は顏が汚れて居るし人形は片足がとれたり胴が壞れたりして居たので悲觀してしまつたが氣を取りなほして糊や繪の具を用意して修繕し初めた ◇手や足の壞れたのは糊で附けてどうやら出來上つたが顏の色のどす黑い所はいくら白い繪具を塗つてもよくならない ◇折から遊びにきた茶目子さんと二人で苦心して考へて見たがよい智惠が出ない結局茶目子の發案で御風呂に入れる事になつた ◇洗面器にお湯を滿たし衣裳を脫いで人形を入れて石鹸で洗つたら段々美麗になるので二人共大悅び調子に乘つて洗つて居ると糊で手や足は湯の爲めに離ればなれになつて折角の苦心も水の泡べそ子は泣出し茶目子は大笑ひ

演藝案內

有樂館 早川演藝部直營 東京小林商會新作一手代理店 ハリユニヴァーサル會社特約 活動寫眞常設館
二十八日より特作品提供 ▲實寫ユニバーサル週報第五三號 ▲大活劇『蠻勇』全三千呎 ▲米國ユ社ゴールドシール特作品 正喜劇『斷雲』全參卷 ▲米國ユ社特作品 大活劇第八『幽靈船』十五 十六編 ▲米國ユ社特作 エリザベスト、ウエーク、ローサン氏作 悲劇『長恨歌』全五卷

黃金館 日活會社京城一手代理店 電話(晝間)二二六(夜間)二二七 二月二十一日より番組
▲『涙の家』全五卷 ▲『鐵道王の娘』 ▲『運命の鍵』全二卷 ▲『由井ヶ濱十八番斬り』

大正館 日本活動寫眞株式會社代理店 櫻井町 電話八七三
▲實寫『アラスカ奇觀大海嘯』 ▲米國キーストン會社喜劇『怪力』二卷 ▲大活劇『影の罪』五卷 ▲舊劇『九尾の狐』五卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇 京阪合同落語一行 毎日午後六時半開演

▲お待兼の▼ 大阪落語 桂枝三郎 女義界大立物 豐竹東昇 愈々今晩より演出仕候 ▲御來館乞▼ 浪花館

商業登記
株式會社朝鮮殖產銀行ハ大正八年貳月七日[illegible]慶尚北道[illegible]支店ヲ[illegible] 右大正八年貳月貳拾日登記 京城地方法院 開城支廳

ハカリ印の ヘブリン丸
はやりかぜ 惡性感冒 には 速かに効く
論より證據
ハカリ印のヘブリン丸が能く効く事は滿天下の實地經驗にて明白であります
定價拾錢以上、五拾錢、壹圓 各地の藥店にあり
大阪市北濱 合資會社 參天堂藥房 電話本局一二〇四 一二〇五

吳軍港より啓上

在吳山陽新報記者　内田生

◆編纂局諸兄目下講和會議にてウイルソン大統領提案の國際案なるもの審議されつゝある由にて軍備の制限問題もありとか米本國の海軍擴張案の大状を見よ軍備殊に海軍擴張案の大勢は吾人は言行の不一致なるを得ず候

◆翻つて我帝國の海軍現在を觀るに米の五分一の戰鬪力を持續するに過ぎず今期議會にて水雷設備の計上通過を見たるは近く海軍擴張の基礎とも見るべきものあり而して各工廠の艦艇造兵能力の増加は軍港の擴大にあるは勿論に候

◆吳海軍は東洋第一と稱され日本海軍の策源地として三萬五千の職工を有する海軍工廠なり今や世界最大艦米のペンシルバニア號を凌駕すべき四萬噸の巨艦長門は大半工程を了へ驅逐艦、潛水艇の如きは二、三箇月前に進水を見申候一方製鋼部は各工廠へ供給する艦材料アーマーの製出に日夜忙殺され居り之れが分廠として日本模範村として著名なる廣村（吳市より三里）に昨年より飛行、潛水艇の製作、修理の大工場を建設中にあり尚海田市附近に海軍工場建設の計畫あり吳工廠の大擴張と相俟つて十年後の藝南の海岸十里は吳を中心として海軍の機關工場たるべく之れと同時に吳市の發展は阿賀廣島と連なり廣島は軍事的設備の理想市街を演出すべく中國第一の大都市となる事は十數年を出でざるべきものと存じ候

◆海軍は吳を兵器場の中心點とすると同時に教育地とする計畫にて日本最初の潛水艇學校の外に水雷砲術、機關學校の建設準備中なり之れに軍港は將來の八八艦隊の完成を告げ聯合艦隊編成せば補助艦艇を加へて四百隻以上を港内に收容せざる可らざるに現在の海軍全部の百餘隻五十萬噸の一港碇泊不可能ほど狹隘を感ぜる塲合にて之れを宮島附近まで大擴張を見るは既定の事實に有之候

◆之れ等の部分的擴張は吳海軍各方面に亘り若手中なり吳市の人口十三萬五千本年は開市十五年（吳鎭守府開廳州年）に相當するに付き海軍と市聯合の大祝賀會を四月中旬擧行の内議中なり二十數年前の一漁村今や十三萬の大都市となり世界的の大工場を有する迄に發展せる吳市の如きは他に類例なく候

◆山内鎭守府司令長官以來吳海軍工廠に一庫の金を與せし職工十數億以上にして現在職工技術員一齊の月の給料九十萬圓を算し軍人軍屬を加へ百三十萬圓は毎月吳市に放出さる亦以て他を推すべき也

◆然るに吳市の現状は教育に政治に衛生に何等都市として見るべきなきは遺憾に候五十萬圓内外の豫算に往年の漁漁師連今は議員として議席にあるの往年其の儘にして市會の小選擧小學の二部教授市立病院を見ざる丸で舊態依然たるに候只水道開通し三月頃通水式擧行の運びとなるべく東洋の大軍港の地として未だ不備の點多々有之候

……るに連れて益々低落の傾向あり殊に近本邦許港の貨物、彼岡其他の……百二十志に運賃の大値下を斷行して荷主の奪取に奔走し之が爲……らずされば荷主側の先安氣構へに……荷の出廻り捗々しからざるが如く從つて此方面に於ける……競爭激烈にて社外船の北米往航……の競爭も漸次猛烈の度を加へ來れるが今後此等遠洋主要航路たる歐……

奉天より

◆例年に比し暖氣の來ること少々早き樣に候而立春以來滿洲は春の氣分、野に山に相漲り申候、昨今の如きは平均温度三十度内外にて凍結致し居り候街路も解け初め、城内の如きは歩行艱難の程に御座候

◆今般東省實業株式會社にて社債總額七十五萬圓發行全部を東拓にて引受け候由に候が其社債要項左の如し

總額七十五萬圓、債券の種類五百圓千圓三千圓の三種とし額面百圓に付九十八圓、利率年八分、償還全額申込證金百圓に付……申込期限二月廿五日迄、償還方法大正九年三月一日より滿二箇年間に適宜抽籤の時價方法にて全部償還、拂込期日三月一日、元利金の支拂場所東省實業會社、申込取扱所東拓奉天支店、東拓城大連支店

◆依て東省實業株式會社主腦は大倉庫會社を建設し以て小營分立の弊を避けしめんとの計畫中に御座候所各發起人協議の結果此度愈資本金五十萬圓全額拂込として創立總會を開催することに一定致し候由に御座候

◆在奉天獨逸人は愈々二十一日出發二十八日上海到着の上濠洲に送らるべき筈にて彼等の所有財産は携帶品、李の外一切の動産不動産は當局より査封し奉天總領事館長王運坡、營口警察廳長宋潔林兩氏に於て管理せしむる由に候

◆當地支那電話局に於ては來る三月より其の全部を共電式に改造する由にて上海メーヤー商會機械其他一切を受負たりと

◆三菱社は昨年大連にて滿洲特産物に手を染めつゝありしが今度更に奉天に進出し大いに商工若くは鐵業界に雄飛するの地歩を造るべく近く開店することに候

◆奉天將軍公署顧問菊池大佐は豫て噂の通り愈々外遊すべく十一日公館を出發し二十日前十時發南行列車にて大連に到り廿三日ハルピン丸にて歸國、暫く郷里熊本縣廳府にて靜養の上五月中旬出發せらるゝ由に御座候

鹽の仁川

朝鮮中の元締　累々たる鹽の山

仁川は鹽の仁川である今仁川驛附近には巨大なる鹽の山が數多く出來貨物ホームの裏乃至は船頭荷揚場附近には米かと紛ふ叺入の鹽が殆んど空地を餘さざる程に積まれて居る是等の數量を數へたら實に一萬二千噸の多數に達するのであるが是等は悉く仁川を經由して鮮内京釜京義の沿線或は遠く浦鹽方面に送り出さるるものである

◆支那　この關係は頗る密接である山東に産する支那原鹽の朝鮮に需要が喚起せらるれば其の悉くが仁川を經由して鮮内に配給せらるゝの理由は別に新しく說明する迄もない之が爲め仁川には昨年以來戎克の入港するもの多く花房町の海岸には眞に帆檣林立の觀を現じ殷盛を極むるのであるしかし此の無量とも云ふべき原鹽の輸送は如何と見るに鐵道輸送上の關係上然く急速に輸送する事の不可能なる事情があり一日僅に數車一箇月の

◆發送　も從つて知れたものであるから此の巨大なる鹽の山を送り盡すのは決して容易でなく仁川は遂に鹽の仁川として其供給は仁川の一手にあるのである最近此の鮮内奥地に需用を喚起した理由は或ひは思惑的の買溜もあらうかは知らないが一般に鮮人の生活向上から來る消費の增加は爭はれぬ一方又鹽方面の需給關係が戰後一變したのが最も原因がある、と云ふのは戰前に於ける鹽は多く獨逸産の山東州に於ける海鹽で青島を以て占有してゐたのであるが開戰と同時に此の供給の途が絶ゆると同時に之に代はるべき山東原鹽は其の販路を擴大し得たのである從つて現今に於ては浦鹽方面の奥地には悉く仁川より發送する山東原鹽に依つて絶大の勢力を占有して居るのである元山方面への輸送が絶ゆや其主要を爲して居る所以は即ち茲にあると云ふのである

滯貨四萬噸

仁川のみにて

最近に於ける仁川の陸運に原鹽及び粟其他の雜貨は石炭等を以て殆んど約四萬噸の多量に達し之が一掃の途なき迄に其量を重ねつゝあり先づ貨物倉庫附近に山を爲して積まれ居る數量を堆積せる原鹽一千五百噸餘にし此の外附近の在荷を算すれば原鹽のみにて既に一萬二千噸に達すべしと云ふ之等は京釜線及び京元線沿線各驛に發送せらるべきものにして而も需用季節の關係上頗る急送を要すべきものとせられ居るが何分貨車繰りの意の如くならざる爲め荷主の要求通り然く急速に發送し得られざるは明らかなるべく可成的其の送達に努めつゝあるの外特種輸送の方法は先づ不可能なるが如し次いで其の

◆主要滯貨　と目すべきは目下結氷中にして鎭南浦への汽船の入港不可能なるが爲め冬期中は悉く仁川經由を以て同地方に發送する關係に從ひ二浦積載ての穀類並に石其他燃料品等に到る迄仁川に搬送し目下京仁港内の南側沿岸貿易揚陸塲は此の種の石炭及び礦石を以て殆んど餘地なき迄に堆積し寧ろ醬倉貨物の著しく増大せるに驚異する有様なり現在に於ける此の數量は約一萬五千噸を算せるが尚數日を出でざる内に約一萬噸の礦石を揚陸すべき豫定となり居れるを以て其數優に二萬五千噸に達すべし而して之が

◆輸送狀況　如何に就て見るに前記の如く貨車繰り困難にして僅其日の到着車輛を運用するに過ぎざる狀態なるを以て急速の輸送を爲すは困難ならべしと云ふ而して昨今到着の數量を見るに一日約三十五輛乃至四十輛を算しつゝあり之等の車輛を以て其送に充用しつゝあるを以て一日凡そ六百噸の發送を爲しつゝあると見ば大差なきが如し其他雜貨類の如き一般に非常の增加を來し近時陸運徒に繁忙を極めつゝあり

◆穀類集散　は内地移出の受託數量を制限せる爲め相變らず八千噸を算せるのみなるが近時の海運界の狀態に依りて其の運賃の低落せる爲め多くは海路の輸送に依るもの多きを以て穀類の陸路輸送荷間へは左したる困難に非ざるが如く目下の受託品も大豆及び粟のみにして大豆は燒酎粕、隅田川の仕向けを主とせり到着數量の如き最近の數量は未だ之れを詳にする能はざるも一月の到着數量を見れば米及び粉の約一千噸餘を算し之を前年に比すれば約五千噸の増加を爲しつゝあるが如し（仁川）

發展せる間島（一）

◆鮮人の移住益々激增◆

面積廣袤と戸口

間島を分ちて東部間島西部間島と爲す支那地方行政區劃によれば東部間島は吉林省延吉縣和龍縣及び汪清縣の一部を指し東西平均二十五里南北平均四十里に亘り此面積千三方里を有す西部間島とは奉天省安圖縣の一部並に吉林省樺甸縣の一部にして東部間島方面に接したる地方を謂ひ面積約五百廿五方里あり而して東西兩部間島の總面積は實に千五百六十方里に及び之を我四國の面積千百五十一方里に比すれば四國は間島の十分六強に當る間島に於ける戸口は鮮人の移住者追年激增し其變化の大いに驚くべきものあり明治四十一年元統監府派出所開設當時調査したる戸口數によれば朝鮮人戸數一萬六千百一戸人口八萬二千九百九十九人支那人戸數三千九百戸人口二萬七千三百七十一人計戸數二萬一百七十一萬三百七十人を算すに過ぎざりき然るに明治四十二年十月以降激增を加へ四十三年六月の調査によれば鮮人戸數四萬五百八十人口二十二萬四千五百人支那人戸……

朝鮮横濱間航路

初航船永陵丸三月八日仁川著

朝鮮西海岸對内地阪神及び横濱間の定期航路開始に就いては目下仁川商業會議所塲田頭取東上極力之が實現に就て運動を爲しつゝあるが日本郵船及び大阪商船會社等は此の塲を諒とし既に該航路に相當船舶を就航せしむる事に決したる由は本社東京電報の既に報じたる處の如くにして之が初航として愈々日本郵船酒田丸三月二日頃仁川に入港群山木浦に寄港横濱へ航行の豫定なりしが同船は過日旅順沖に於て坐礁したるを以て之が代船として永陵丸三月八日仁川入港の事に決定したりと云ふ而して同船は門司及び阪神に寄港横濱へ向ふ豫定なるが仁川横濱間の運賃は約百八十圓乃至二百圓の見當なりと（仁川）

哈爾賓進出

採木公司と分局

安東縣の鴨綠江採木公司にては北滿進出の計畫を立て過日來之れが調査準備に鋭意しつゝありしが愈哈爾賓に分局を設置すると同時に製材工塲を新設し活躍を試むべく内定せりと（哈爾賓）

〇穀物在高（仁川）　二月五日現在仁川在庫穀類數量は玄米五斗入七萬二千五百七十一叺四斗入六萬六千五百八十四叺、白米五斗入九百四十五叺、大豆五斗入五千八百十六叺、三斗五升入五百八十六叺、三升叺一千二百十五叺、小豆二萬五千五十四叺、小豆六百六十五叺、小麥三萬七百三十七叺袋入六百五十五袋、粟二萬五千二百十三叺、大麥四百四十七袋、稗二千八百俵、粉米七百八十一叺、粟三百八十六叺、蕎麥七十三叺、糯米一千二叺、外國白米五十叺なり

〇瓦電重役東上（釜山）　朝鮮瓦斯電氣會社長香椎源太郎氏及び水野監査役、鳥居會計係等は來る二十六日東京に於る同社株主定期總會に列席の爲め二十日午後高麗丸にて東京に向へり

輕鐵起工前の　鳥致院と市況

俄かに色めく

京釜線鳥致院驛は忠南、北兩道交通路の要衝に當り忠清南道廳の所在地たる公州及び忠清北道廳の所在地たる清州へ赴かんとするには京釜線にて必ず鳥致院驛より下車すべき事となり居れるを以て勢ひ鳥致院は忠清南北兩道の首邑にして鐵道の便なき地方へ赴く旅客の往來頻繁にて殊に忠北各地の物資は皆鳥致院に集まりて出づるを以て今回忠清南北道の主要地間を連絡せしむべき輕便鐵道も此地を中心に起工さるゝ事となりたる爲め市況頓に引立ち昨今視察者の入込み者頻繁なるが殊に電燈工事も四月頃より開始さるゝ事に決し梅内の埋立及び内倉庫改修工事等の勞市中の景氣は彌が上にも盛況を呈し居れり而して愈々輕鐵起工の曉には從來の面目を一新するに至るべし

〇製莚傳習會　平安南道价川郡にては冬季中の閑期を利用し外西面と北面邑里の二箇所に製莚傳習會を開催し講師は名越居三氏その任に當り十二月十六、十七、二十、二十二の四日間毎日午前九時より午後四時まで傳習を行ひたるが非常の好成績を收めたりと

〇明太魚カラスミ（咸興）　咸南の特産物たる明太魚の卵は昨今内地人に歡迎せられ年々移出の增加を見つゝあるが近來之れが加工も在來の鹽漬より漸次製品の改善を行ひ酒精漬等の產出を見るに至りしが咸鏡南道西湖津水產傳習所は先般内地に於ける鱈子製造法に倣ひて明太鱈子を製造せしに風味頗るよく良好なる成績を擧げたるを以て製法の普及を誘る方針なりと云ふ

〇歐洲出張（撫順）　滿鐵本社の命により米倉炭礦長及び岡村土木課長は戰後の歐洲工業界視察の爲め往復六ヶ月間の豫定にて來る三月頃に出張を命ぜられ來る三月……

東西南北

◆事變で儲けた人々◆　◆ブラゴエ市の日本人中今回の事變にて資產を造りし筆頭は日本人會長の本澤定一郎氏（五十萬圓）、露國の宮崎雅幹氏（二十萬圓）等なりと

◆掏摸各國人競べ◆　◆西伯利の掏摸は日本人こそなけれ支那人、露西亞人其の他印度人の掏摸團殆ど百數を競べの姿なれば旅客は中々油斷なり難しとなり

◆印度人の掻つ攫ひ◆　◆西伯利にて印度人の掻つ攫ひ銀行會社商店等へ申込み其の隙を窺ひて金品を掻つ攫ふ手段は相棒の男が巧妙なり

◆寢臺車へ婦人出沒◆　◆東清鐵道にては寢臺列車に婦人客の不自由に對し今回馬の氣を心にしてクロースにて巻き廣のカバーを掛けし婦人枕を貸す事となりたり

◆蕎麥の値上げ取消◆　◆鎭南浦の朝鮮蕎麥屋組合の上蕎正月を期して蕎麥一杯十錢なりしを十五錢に値上げせし所食手がなきため再び元の十錢に値下したりと

毛谷村六助　卅六番角力

百五十二席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

木村又藏は二人の商人體の男の話を聞いて　又『是は叶ん、彼等二人から借りようと思つたが、片々は七人此方は十人大勢な家内を持つて居るな、大勢の者が路頭に迷ふと聞いては、可哀相だ見逭して遣らう』と思つて居る内に遂に此の商人は通り越してしまつた、又暫くすると向ふから一人の老人が杖に縋つてトボ〳〵と此方を指して來る　又『ハヽア此奴はもう死んでも宜い年だな、大分立派な服裝をして居る、オヤ〳〵頻りに念佛を唱へて居るが、殺される覺悟かな、此奴は斬つても宜からう』と密と後方へ廻つて來ました、來られた老人こそ災難、そんな事とは知らず頻りに念佛を唱へながら歩いて居ります、又藏は一刀の柄に手を掛けたが、熟々と考へて見ると程の老人　又『ハ、此の老人も定めし子もあらう孫もあらう宅の爺さんは長濱の松原で殺された、どんな奴が殺したかと、家内や子供は怨むであらう、然うなるとその怨みは皆此方へ來る、是は氣の毒だ見合せよう』と良心が咎めますから何うも殺すことが出來ません、然う愚うして居る内に此の老人も通り過ぎてしまひました、人を殺して金でも取らうといふ者が、こんな事を氣にしては手が出せん、遂にその内に日も追々と山の端に近づいて參りますから　又『是は到底俺のやうな氣性では泥棒は出來ない、あゝ困つた事が出來た然しまア一應宅へ歸つて、此の藥なりとも阿母樣の氣休めに上げ申して、緩々五兩の金を工面をいたさう』とブラ〳〵二丁歸つて參りますと、路の傍の松の根方を枕として、グー〳〵と雷の如き大きな鼾聲をかいて寢て居る者がある、ヒヨイと見た又藏　又『オヤ〳〵恐ろしい大きな武士だな頭髮は火のつくやう、着物は俺のなつて居るのと同じやうに羊羹色になつて居る、黑羽二重と云へば價値があるが、何のことはない赤羽二重の紋付だ』と呆れ却つて見て居た、此の浪人體の男は身の丈六尺有餘もあらうといふ大兵、何しろ大分酩酊いたし居るものと見えて仰向けに踏反り却つて、天秤棒に等しい長い刀を腰に帶しグウ〳〵鼾聲を搔いて快い心地さうに睡て居ります　又『隨分厄介な武士もあるものだ、何處の浪人かは知らんが、酒に醉つたものと見ゆる』と行き過ぎようとしてヒヨイと見ると、懷中から大きな紙入が半ば出かゝつて居ります　又『ハヽア、立派な紙入を持つて居るな、五兩持つて居らんかしら、イヤ〳〵睡て居る者の懷中を盜むといふは宜しくない、居る者を盜ろうとするはまアノ〳〵懷中へ押し込んで置いて遣らう』とスイと傍へ寄つて　又『御浪士お起きなさい、紙入が出して居ると盜まれる、ぞ』と呼び起しながら身體を搖り動かしても死然死人同樣少しも返事が無い、仕方なく又藏は右の紙入を懷中へ入れて遣らうとすると、睡てると思つた武士は、ムックリ起上つて　浪『ヤイ、此の野郎、何をいたす、俺は汝は盜賊だな』又『何にッ、盜賊とは何を以て申すか』浪『汝は今拙者の紙入を取らうといたしたではないか』又『馬鹿な事を申せ、汝が此處で熟睡いたし居つて紙入を懷中より出して居つた故、取られてはならんと心得懷中へ押し込んで遣はしたのだ』浪『馬鹿な事を申すな、盜まうといたしたに相違ない、一體貴樣は何れの何と云ふ奴だ』又『身共か、身共は木村又藏正勝と云ふ者だ』浪『生意氣にも名前だけは偉さうだな』又『然て貴樣は何と云ふか』浪『俺か、俺は中國小早川の浪人井上大九郎と云ふ者だ』又『大きな身體だけあつて名前も大きな名前だな』大『さア盜人、勝負をするから拔いて來い』又『盜賊呼ばゝり不埒な一言、息の音止めてくれる覺悟しろ』と大變な奴があつたもの忽ち往來の中央へ飛び出した、

▷著作原稿懸賞募集◁

原稿種類
一　朝鮮風俗に關するもの
二　朝鮮歷史に關するもの
三　朝鮮行政法其他朝鮮特種の法律に關するもの
四　朝鮮鑛業に關するもの
五　朝鮮に關する各種出版物
（原稿は内鮮人向を問はず）

賞金　（壹等）壹百圓（貳等）七拾圓（三等）五十圓
選外の分と雖も出版に適するものに對しては二十圓以上四十圓迄の謝禮金を呈す

審査　京城日報社及各專門大家に委囑す

〆切期限　大正八年九月三十日

應募規定
（一）原稿は五號四六字詰十五行三百頁以上五百頁迄とし
（二）假名を附すものは假名付き寫眞、挿圖等を要するものは共に之を添付せらるべし
（三）當選及謝禮金を呈したる原稿の版權著作權は發行者に移る者とし當選外の者と雖も原稿は一切返戻せず
（四）當選の原稿はウツボヤ書店にて出版發行し京城日報代理部に於て發賣するものとす
（五）出版物は體裁及價格等はウツボヤ書店及京城日報代理部に於て決定す
（六）應募原稿は採らず但一人にて數種應募するも妨なし
（七）當選發表は京城日報紙上
（八）發行期は發行者及審査者之を決定す
（九）原稿は京城日報代理部宛郵便にて送られたし
（十）賞金は發表と同時に贈呈す
鮮人の作物は其の筋の許可ありし後贈呈す
以上規定に反せる原稿は審査に附せざるものあるべし

京城太平通　京城日報社代理部
京城本町　ウツボヤ書店出版部

清美液　皮膚の營養　眞に美人と成るには　一名『あれしらず』　到る所の化粧品店藥店にあり　定價　金二十錢　金四十錢　五十錢　三十五錢

牛乳　御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

京都たまや出張店　明治町二丁目　電話二九六　吳服

皮膚科　外科專門　京城太平通一丁目　扇田醫院　電話二三五八番

タオル　印一手販賣　京城若草町四〇　上月商店　電話一〇三五番　振替京城五三二番

本場名仙　一反只五圓三十錢

休戰と毛布

胃腸最新藥　ゲヂスチン　日本及歐米十三ヶ國專賣特許

腦病良藥　レーベン　醫學博士岡田先生證明　醫學士常持先生發見

〇料理品展覽會　割烹研究會教師中野常幹氏は廿六、廿七の兩日午前十時より午後五時まで市内寶座に於て料理品展覽會を開催和洋合せて八十種の料理につき其調理を說明する由、會費五十錢、氏は本年京城女學校にて講習會を開きし事あり

〇白米歸る（晋州）　白米相塲益々歸騰し市中小賣相塲遂に四十三錢を唱ふるに至れり

二月廿五日　舊（一月二十五日）　火曜日

▼九紫▲知らぬ顏で暮すべき日也
▼一白▲世話の仕甲斐なき日なり
▼二黑▲福利を得る日起業移轉旅行棟上其の他何に用ひても吉なり
▼三碧▲調子の好き日にて思ふこと萬事調ふべき日なり何事にも吉
▼四綠▲世話の仕甲斐のある日なり恐らく一日賑やかに暮し得べし
▼五黃▲福の舞ひ込む如き日なれば思ひ立ちし事は行うて吉なり
▼六白▲厄拾ひすることある日也
▼七赤▲骨を折ても甲斐のなき日
▼八白▲結構なる美事な日にて思ひ立ちし事は之を行うて萬事吉也

◆天安◆　鵞口瘡　忠南天安郡に流行性鵞口瘡發生したる旨道廳より大田郡廳に宛電報ありたるを以て同郡廳にては直ちに各方面に通牒を發して之れが豫防を嚴命せるが此の鵞口瘡は直ちに斃死するものにあらずして食慾減退して遂に其用をなさゞるものなりとの事なれば飼養家は注意すべき事なりとなり（太田）

綿糸
綿布
商

大阪市南區南久太郎町二丁目
(永) 不破糸店
電話長船場 一四〇 一四一 一四二 一四三 一四四 一四五 一四六 一四七 一四八 一四九 二五〇
受電略號 オサカフワイトミセ "FUWA OSAKA"

天津佛租界六號路第十五號
(A) 不破洋行
電話 二九八〇 三〇三番
受電略號 "FUWA TIENTSIN"

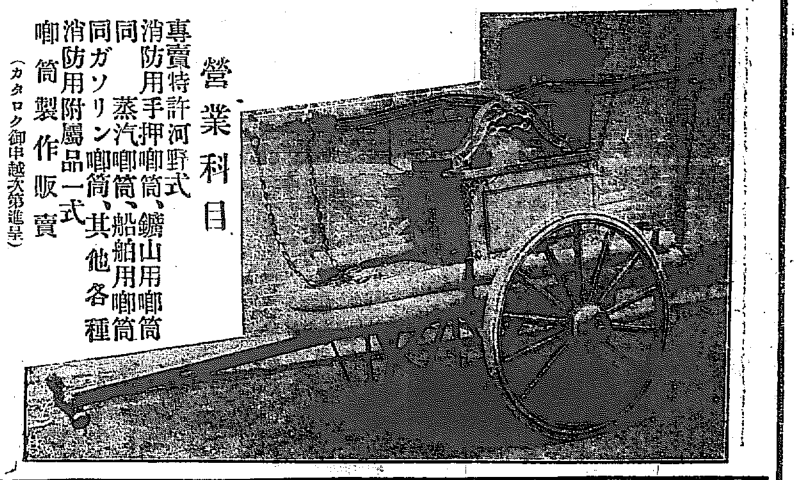
▼第二の世界を形成せんとする
現代の活動家に告ぐ!!!
體育運動を重んじ健全なる身體と精神とを保持せんとするには目下盛んに實用されつゝある、作業能率增進劑
木下醫學博士
小嶋藥學士
創製にして運動力增進劑として日本體育協會の認定したる
外用
擦用
スパルターを
御使用ありたし
スパルタは、體力、氣力、活力を養ひ、疲勞を忘れ筋肉を營發する新劑なり
スパルタを手足全身に塗擦すれば根氣を增し精力を增進せしめる(説明書申込次第進呈)
大阪市東區本町一丁目
發賣元 國光製藥株式會社
振替大阪四五五九八番
電話本局三九二二番
(定價一瓶二十五錢)

天然炭酸瓦斯

一、容器貸付ノ儀ハ特ニ御相談可申上候
一、含有量　九六%
多紀炭酸瓦斯株式會社
大阪出張所
大阪市南區日本橋筋四丁目二六
電話南二二四番

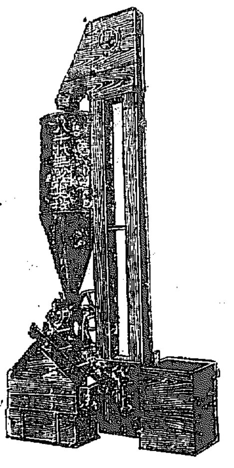
瓦斯量正確生産豊富
カーバイト
東海電力株式會社製品全國一手販賣
福岡商店
本店 東京京橋區京橋電話局前
(電話京橋六九九番)
支店 大阪北區上福島中一丁目五〇五番地
(電話土佐堀二六四四番)

大正七年大阪化學工業博覽會に出品し驚異の稱讃を博したる
專賣特許 筒式自在印寫器
●印寫器の特長
●何人と雖も使用簡便なれば數分間に百枚以上の彩色印刷する事を得
●原版はペン先毛筆にて然も濃淡自由の印刷する事を得
●製圖用青寫眞の代用として素人と雖も自由なり
●從來の謄寫版の如く專用原紙ヤスリルーラ等の複雜なる器具を要せず
●使用するに於て手指衣服の汚染するの憂なし
●本器は在來の印刷器費の十數分一の經濟力にて足以上の特長を有するが故に官公衙會社商店の嫌なく容易に使用する事を得べければ一日一時を爭ひつゝある國會の利器を以て社會に提供するの趣旨に出で並に特約店を募集す
希望者は大阪本店へ至急照會ありたし
大阪市南區順慶町壹丁目
製造發賣元 井陘商行
電南四一二九番・一九四一番
東京市下谷區上野花園町
東京市麴町區有樂町一ノ三
井陘商行東京支店
電長本局二一四九番・一一一三番



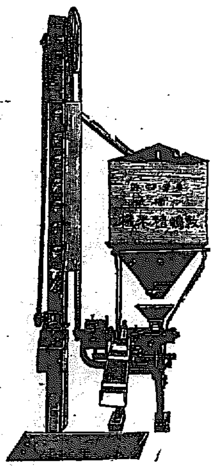
營業科目
專賣特許河野式消防用手押唧筒、鑛山用唧筒
同 蒸汽唧筒、船舶用唧筒
同 ガソリン唧筒、其他各種
消防用附屬品一式
唧筒製作販賣
(カタログ御申越次第進呈)
合名會社 河野唧筒製作所
大阪市北區中ノ島五丁目
電話土佐堀(長)一四六八番 二二四九番
振替口座大阪一五〇二四番

專賣特許



八千代精米機
◎精石數特號三十石以上
◎本機の特長
一、搗減僅少にして精白清麗佳良なる事
一、精白は無砂混砂自由なる事
一、酒造精米に最も適當
御申越次第『カタログ』説明書贈呈す
大阪市西區江戸堀北通三丁目
株式會社 今橋商會
電話土佐堀二一八一番
振替大阪一四四〇九番

◎精石數壹號十四石以上
敷島精米機



(K)
大阪市西區本田通壹丁目
合名會社 勝山鐵工所
代表社員 勝山沖之助
電話長西一四八一番
振替口座大阪四五八〇六番

一(製品種目)一
▼機械製作部
陸船用ボンプ　各種丸窯並ニ骸窯
海水ボンプ　耐火煉瓦
ビルジボンプ　化學工業鑛山用
デツキボンプ　各種諸機械並ニ
バルクヘツトボンプ　船舶修繕
ウオーシングボンプ
▼火造部
海陸用諸機械火造
高評嘖々タル弊所ハ多年ノ實驗ト嚴密ナル注意ヲ以テ完全且堅牢ニ諸機械ヲ製作シ一般御需用家ヘ供給致候處今般工場擴張ト共ニ右記ノ各種ボンプヲ主トシテ製作シ尚其他凡テノ工業機械ヲ迅速確實ニ調製可仕候條多少ニ不拘御用命被下度候

(營業科目)
鳳凰印アスフアルトルーフヰング
天然スレート
アスベストス製品
日本スレート
アスフアルト工業株式會社
關西代理店
大阪市西區江戸堀南通壹丁目
鈴木合名會社
大阪出張所
電話土佐堀一二八一番
本店 東京市京橋區丗間堀三丁目

京城日報

支那國防軍と英米の提議
在東京　吐峯生

◇小幡公使遭難說は一片の僞說に歸し、朝野の人心安定せりと雖も、北京の天地依然として暗雲低迷し、帝國使臣の立場頗る容易ならざるもの有之候

◇當面の問題は國防軍編成援助問題にて、北京外交團の一問題となり、五國公使團は日本に向つて一種の提議を試み候。即ち彼等の提議に曰へらく、日本の援助及び供給は上海和平會議の大障害たるを以て、會議終了に至る迄之を延期すべしと言ふに在り

◇右に對し我が小幡公使は一大變更すべきものにあらず、殊に北京政府は既に契約濟の問題にして今更に[illegible]試みたり。蓋し前記[illegible]、北京政府は右の編成費を南北戰爭に使用せざる保障を與へ居るを以て、五國側の提議に同意する能はず、若し五國側が愈々南北妥協を勸告したると同一の方法に依り、北京政府に對し、南北戰爭に使用せざる旨を聲明せしむべく、勸告を爲す方法を採るに於ては、日本は喜んで之を容るべしとの聲明を爲したる由に候

◇吾人は冷靜に判斷して小幡公使の聲明を多とし、五國側の御節介を排斥するものに候。名は五國側と云ふも實際は英米二國也、就中米國の策略也、彼は支那を操縱し、日本の特殊地位を顚覆すべく、南方派と策應して以て北京政府の[illegible]に出でたるものに候

◇然れども彼等の注文は根本に於て誤れり、既に徐世昌氏も言明したる如く、世界の平和は未だ確定せるにあらず、現に支那の北境は過激派の跳梁するあるに非ずや。支那が國防を完うし參戰の義務を遂行すべく、國防軍の編成を急ぐは寧ろ當然の義務に屬す。米國が日本を排斥せんとして支那の内政に干渉するは、驚くべき事と謂はずんばあらず

◇蓋し南北協和を勸告し、[illegible]を求むる[illegible]に對して英米は、北京外交部の提議を排斥して、既定の方針を遂行せるは其の勇斷を[illegible]するに値し候。我が小幡公使は英米使臣の妄念を打破し、飽く迄北京政府擁護の措置を完うせん事を望んで已まず候

◇我が陸軍省の公報に依ればブラゴエ附近過激軍の出沒あり、我が討伐隊之と交戰して擊退したりと雖も、敵の死者百名に對し我が損害四十五名あり、交戰の困難なりしを推見せしむ、大隊長以下の犧牲者を出したるは[illegible]堀少佐以下の勇敢に就しては厚く其の戰功を表せずんばあるべからず

◇惟ふに此の一事は[illegible]、支那の前途未だ容易ならざるを示すと同時に、日支共同して警戒する[illegible]（二月十九日）

國際聯盟成立演說（二）
ウイルソン氏の報告

此の文書は簡單なれば其特徴として見る可きなり[illegible]此の聯盟の處理せざる可らざる種々雜多の事情を想像する能はざりしなり[illegible]

必要なる有ゆる機關を組織すること[illegible]

の聯盟は力の指針に非ずして力を[illegible]

は非ず[illegible]此の時代の推移に基きて力を[illegible]

的保障を防がんとする確定的侵略[illegible]

中の勞働者の大集團に於ける勞働者の世界に[illegible]

要視す可きは勞働に就て提出せられたる規定なり[illegible]

を併合する[illegible]微力なる人民を好餌としたるかを[illegible]

協議及び援助の圈内に國際[illegible]

表に關する重要なる國際協約の公表に於て其覺醒を表示し[illegible]

條項[illegible]

時代後れの文書[illegible]

衝動[illegible]植民地を處理する[illegible]憐愍の[illegible]

新なる希望に接し[illegible]新たなる光明[illegible]

期待[illegible]全世界が久しく之を[illegible]

財界の新舊人（41）
馬詰次男君（上）
西海生

東亞煙草株式會社理事
朝鮮の煙草界の[illegible]統一させた[illegible]

大正三年頃東亞煙草會社の[illegible]

▲此の東亞の朝鮮に於ける發展時代に、事實上會社の代表者として煙草界に雄視し來つたのは同會社理事馬詰次男君である、君の東亞煙草販賣所長として朝鮮せしは明治四十五年であつし、當時英米會社[illegible]

▲馬詰君は高知縣の出生、本年四十五歲、明治三十一年東京高商を卒業[illegible]

▲朝鮮の專賣制も大正九年の下半期には實施されるらしい[illegible]

▲唯朝鮮に於て君の經驗せし如く支那では日本官憲の援助も極めて薄いのであるから、グングン英米の勢力を押して行き得るだけの自信あり又君にそれぞれの戰鬪力あり、[illegible]支那本土に最も未來ある[illegible]

物價は何時低落するか（三）
（千九百十八年十一月米國アンダーソン氏演說――『ナショナル・バンク・オブ・ニューヨーク』寄稿抄譯）

（二）歐洲の有する金錢上信用上の資產

▽外資に依り戰費を支[illegible]

▽公債の利子[illegible]

▽善用する時[illegible]

▽外債を有する小邦に於[illegible]

（三）資金供給の主要國として米國[illegible]

▽實行こを要す[illegible]

（四）米國政府の政策[illegible]

▽地方自治體に於て[illegible]

（完）

◎商工局の分離
▲前内閣時代に企圖せ[illegible]商工課の商工局長を擧る[illegible]

▲腦裏に印象せしらる可[illegible]

本紙定價[illegible]

發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通二丁目　京城日報社

明華女子齒科醫學校
新學期開始四月七日　願書受附四月一日
規則書郵券を要す
東京市本郷湯島町

家庭雜誌
三月號
他人に與ふ（實驗）
桃の日
主婦の讀物
櫻の庭
桃花帖
定價金拾八錢　東京　博文館

世界的大發明
BELEUCHTUNG SPIEGEL
照暗鏡
一名夜見える眼鏡

特許出願中
需用家の好評益々加はる
●鑛山坑内の觀察
●齒科齒科の手術
●船員の夜間勤務
●探偵の夜間見廻り
●夜間の偵察及旅行
●旅行家の必携
●其の他用途廣大
普通眼鏡と同じく耳掛にて暗所にて能く新聞を讀み裁縫をなし得、尚三四間の巨離を明瞭に見るを得。近眼の御方は度數御指添の事
◎定價　並製金三圓八十錢　特製金五圓八十錢
但し近眼は定價の一割増（老眼は二割五分增）
●送料内地金十二錢領土金卅錢
東京神田區美土代町三丁目一番地
東京スピゲール商會
電話神田二三三〇番

東京時事新報社發行　最良なる二大子供雜誌
特別大附錄添附
少年
少女
最新號出來
定價各廿錢

京城日報編纂
最新書式大全
菊版總クロース
定價金參圓　郵稅八十錢
狀、願書、不動產及商業ニ關スル登記、契約、通知、催告、答書、各官廳ニ差出スベキ屆書、申請書、訴願書、度量衡、特許意匠商標、實用新案、内地共通ノ書式ヲ網羅シ[illegible]
發行所　京城日報代理部

高麗人參越幾斯
高麗人參錠
●宮内省御買上の榮を辱ふし
●博覽會にて金牌の賞を得
登錄商標
本劑は朝鮮特產高麗人蔘の醫治的主成分のみを稠集したる純品にして多年調査研鑽を重ね創製したるものなり去明治四十四年始めて世に發表するや到る處に歡迎せられ其効力や既に定評あり然るに之れに模擬したる類似品百出して愛用者を惑はしむること少なからず然れども其素質や本劑とは全く異にして益々諸大家の信用を加ふるは寔に光榮とする所なり其醫治的藥効は諸大家の臨床實驗報告を綜合するに神經衰弱、ヒステリー、腎臟炎、リウマチス、神經痛、老衰、精力減退、消化及營養不良及總ての衰弱諸症に對し推奬せらる
定價　四瓦　金七拾錢　八瓦　金壹圓參拾錢　二十瓦　金貳圓八拾錢　五十瓦　金六圓五拾錢
錠　五十錠　金六拾五錢　百錠　金壹圓貳拾錢　五百錠　金五圓也
人參製劑創始者　宣壽堂　井上藥品部
朝鮮京城鐘路　東京京橋加賀町
●本劑は日本内地及臺灣、南支那、南洋、北米及其他各地の著名なる藥店にて販賣す

江戸の花名物
創業明治廿貳年
新たに開業の御方又自轉車御營業の方ハ（登錄商標）
東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の完全を計り被下度候

自轉車部商
杉野里商店
東京神田區末廣町
電話下谷一八七五番
振替東京二七一二番
"C.A." "DAIMILLION" TOKYO

◇米議員聯盟反對
―聯盟加入は無意味―

米國上院議員中共和黨の大部分と民主黨の一部は國際聯盟が軍備通商に關する議會の權能を奪ふものとし米國議會の欲せざるものは隨時破棄すべきを以て斯かる聯盟加入は無意味なり故に米國は制度組織を變更するに非ざれば歐洲諸國の如く此の聯盟に加入する能はずと敷衍さつゝあり(紐育特電)

◇紐育ヘラルド聯盟評

紐育ヘラルドは國際聯盟に就き左の論評を掲げたり(紐育特電)(一)國際聯盟は實際問題として其の實現頗る困難なり(二)聯盟加入に保障を要するあり這は疑少限度の軍備ならんも誰か克く疑少限度の定限を決すべき米國の海軍計畫は制限以上に非ずと否定し得るや(三)聯盟の實現には幾多の時日と複雜なる勢力を要すべし

◇日本委員の主張

日本委員は北太平洋二群島統治は濠洲の南太平洋諸島に對すると同一ならざるべからずと主張し居れり(巴里特電)

◇獨墺合同企畫
‖近く條約締結か‖

獨墺二國の合同を實現すべく近く兩政府間に條約締結されんとする形勢あり墺國外相オットー・バウエルは不日ワイマールに赴くべし(巴里電報)

◇日本聯國離間策
哈市外蒙古特殊權利繼承無根

上海よりの電報に依れば日本は哈爾賓及び外蒙古に於ける特殊權利を繼承せんが爲め協議しつゝあるが如く報ぜるも右は全然無根にて講和會議の進捗に伴ひ日本を中傷し日本と聯合國とを離間せんとする獨逸の策略にて之れに依り會議に於て利益を得んとする魂膽に外ならず(東京特電)

◇英ライン駐屯軍保持

英國はライン駐屯軍を堅持する爲め日々一千人以上の割合を以て二個年及び三個年勤務の新兵を徴募しつゝある旨英首相は聲明せり(巴里電報)

◇イルクツク市經濟狀態恢復

イルクツク市面は漸次經濟狀態恢復の兆あるより我領事館は近く開館すべし(東京特電)

◇南北和平會議續開

南北和平會議は二十二日以來引續き開會先決問題たる陝西撤兵國防軍組織中止等に就き協議を繼續しつゝあり(某所著東京特電)

◇國際聯盟案審議

外務省にては二十一二十二の兩日幣原次官以下重なる局課長參集國際聯盟草案の解釋に就き審議せるが其の結果草案第二十條及び第二十一條に對し修正を提議すること、し其他國際聯盟會議、執行委員會に於ける多數決主義並に軍備縮小の點に就ても相當修正を加ふべく同時に排外的法制を撤廢し門戶開放に決し其解釋調查一先づ完了したるより幣原次官は二十二日の外交調查會に之れを報告したるもの、如し(東京特電)

◇鐵道院獨立か

政府は近き將來に於て鐵道院を獨立の一省とし鐵道大臣を置くの意あり要するに鐵道事業は將來益多施設を要し且つ軍事上より鑑みて其の必要を認めたる爲めならん(東京特電)

◇對外策改革
外調會開會

外交調查會は二十二日午後三時より首相官邸に於て開會原總裁より講和會議に於ける國際聯盟問題、人種的差別撤廢案を一時撤回保留せる事實の眞相經過を報告し更に幣原次官之を敷衍し次に各委員より意見の開陳あり一同晩餐を共にしたる後會議を繼續せるが要點は我對外政策を根本的に改革するにあるを以て議了に至らず今後も屢次會議を續開愼重審議するに決し午後七時半散會せり(東京特電)

◇聯合國經濟會議實行委員會

現內閣成立後第一回聯合國經濟會議實行委員會は二十三日午前十一時半より首相官邸に於て開會各委員出席原委員長より挨拶あり講和後に於ける對敵取引禁止令に就き意見交換の後午餐を共にし散會せり(東京特電)

◇特殊部落同情融和會

特殊部落の改善と融和とを圖るを目的とする同情融和會は帝國公道會にて二十三日午前十時より築地本願寺別院に開會さる定刻前特殊部落代表者三百八十名參集先づ大木遠吉伯座長に推薦され大木伯の『蔑視に囚はれたる弊習を打破しさらに積極的に斯かる會を組織し融和を圖る要あり』と一場の挨拶を述べ次に添田地方局長大臣を代表し挨拶あり更に大谷尊由、有馬、大江卓、柳澤小笠原兩伯、犬養毅氏、楠瀨陸軍中將其他華族富豪及び全國よりの代表者の講話あり代表者及び決議文を朗讀し滿場一致可決實行委員を選び十二時半閉會食堂を開き和氣藹々裡に散會せるが頗る盛會なりき(東京特電)

◇伊東中將薨去

病氣危篤に瀕しつゝありし海軍中將男爵伊東義五郎氏は二十二日遂に薨去せり享年六十有二(東京電報)

▲略歷 正四位勳二等功三級男爵伊東義五郎氏は長野縣士族伊東賢治氏の四男にして安政五年五月十六日を以て生る明治十四年海軍少尉に任じ漸次累進して同三十八年海軍中將に昇進し同四十年華族に列し男爵を授けらる其間同十七年軍事視察の爲め佛獨兩國に差遣せられ同二十一年歸朝の後高千穗艦長海軍參謀部員常備艦隊參謀比叡、大和、葛城の各艦長を經日清戰役に際しては海軍大臣副官となり勳功あり海軍省主事佛國公使館附武官後常備艦隊司令官鎮守府參謀長竹敷要港司令官等に歷補す昨年既に豫備にして大日本石油鑛業株式會社社長の要職に在り

借款提示
巴里會議と兵器參戰借款

巴里に於て此程講和豫備會議總會に上程せられし國際聯盟規約草案に依れば從來各國間に締結されし▲條約協約等は何れも聯盟の主旨に背馳するものは改訂さるゝに非ずんば其效力を失ふべきものにして此の結果未だ公表せられざる有らゆる條約或は協約は此際一應巴里會議に上程し其の審議を受けざるべからざる次第なるが支那講和委員等は日支間に現存せる未發表の條約協約其他の秘密をも該會議に於て發表の上審議を受けたしとの希望を有し旁既報の如く山東省民の撤廢に關する日支兩國政府間の交涉は全部我牧野全權委員のみならず支那委員より發表されたるが支那就中南方に於ける輿論は此際兵器借款、參戰借款の如きも巴里會議に上程するの要ありと主張し居れり從つて右兩借款契約の全文は日支兩當局合意の上遠からず巴里會議に附議せらるべき運命にあり所謂

▲兵器借款 は大正六年末日支兩當局間に交涉を開始し翌大正七年一月上旬兩國當事者間に調印を完了せるものにして契約の要點は

第一 支那政府は日本泰平組合より日本製兵器を購入す

第二 其の總計金三千萬圓に該當する三八式小銃、機關銃、野砲、速射山砲、十二珊臼砲、之に對する彈藥を日本より輸入す

第三 右は通常の借款の形式に依らず一時的賃買の形式に依り泰平組合に於て右代金を立替ふ形式を取る

第四 支那政府は右兵器を國內爭鬪の用に供せざる事を約す

第五 泰平組合は支那政府に對し兵器供給の優先權を有し必要に應じては繼續借款に應ずるものとす

等なるが右借款契約に依る兵器中第一回輸送分は大正七年一月下旬橫濱より船積みし二月上旬秦皇島に陸揚げされたり次に

▲參戰借款 は大正七年一月日支軍事協定の主旨に依り同年二月支那政府及び日本銀行團との間に調印を了りしものなり最初支那政府は佛國政府の慫慂に依り參戰の義務を履行せんが爲め西部戰線に出兵せんとの意嚮あり其の經費に充てんが爲め米國政府に對し參戰借款の交涉を爲せしも右は擔保其他の點にて折合はず結局不調に終りたり是に於て支那政府は更めて日本に對し參戰借款の交涉を開始するに至りたるが偶々日支兩國當局間には共同防敵を目的とする軍事協定締結の交涉あり此結果共同防敵の爲め支那政府が新に組織せんとする參戰軍の費用に充つる條件として日本銀行團は支那政府に資金を融通する事となり昨年三月日支兩國當事者は右借款契約に調印せる次第なり(但し共同防敵軍事協定は參戰借款成立後即ち三月二十五日附を以て調印せらる)右參戰借款の要點は

第一 日本銀行團は支那政府に對し金二千萬圓を貸與す

第二 支那政府は右の資金を以て中央に參戰軍三箇師團を編成し專ら國防の用に充つ

第三 參戰軍編成の爲めには支那政府は日本より教官を招聘し同軍隊所用の兵器は日本より購入する事

第四 日本銀行團は毎月支那政府に對し金三百萬圓宛を交付する事

等なるが昨年中日本銀行團は支那政府に金三百七十萬元を交付せるのみ其後北京政府が之を以て南方討伐の軍費に流用するの恐れありしを以て之が交付方を中止し殘額一千六百三十萬圓は現に北京滙業銀行內に預金しあり尚ほ兵器借款は前掲の如く一時的賃買の形式に依れるを以て契約文中には擔保に就て何等規定せず又參戰借款は日支軍事協定の一部として締結せられたるものなるを以て特に參戰借款其のもの、擔保として明記せられたるものなし(東京)

◇外相病勢加はる

內田外相の病氣は其後輕快に赴きしも二十一日入浴せし爲め病勢再び加はりしを以て當分靜養の要あり(東京特電)

◇松嶋領事轉任

哈爾賓總領事松島肇氏は西伯利軍事援助行動も一段落を告げたるを以て近くオムスク政府所在地に轉任すべし(東京特電)

◎鹽田擴張と干潟地利用

總督府は製鹽の增加を圖る爲豫て朱安廣梁兩鹽田を擴張すべく遂し朱安は大正六年より百四十町步の鹽田增築に着手し昨年末竣工し廣梁も大正七八兩年度繼續事業として德洞干潟地に約▲三百五十町步の鹽田新設中なるが昨年は物價及び勞銀騰貴の爲め豫定の面積を擴張する能はざりしが更に八年度に於て天日製鹽田適地の選定其の設計及び調查並に在來鹽田の調查を爲すの必要ありとし其經費四萬五千圓を豫算に計上し大々的に天日製鹽田の擴張を圖らんとするの意嚮あるが如しされど八年度は築田工事を爲すに非ず將來築田を爲すに就ての調查設計等の豫備行爲に過ぎず元來朝鮮西海岸各地には可なり廣大なる地積を有する干潟地あり總督府は將來右干潟地に對し鹽田築造を爲す爲め▲保留地として存置しある國有未墾地として利用を爲さしめざる地域あり然るに近來食糧問題解決の聲喧しく一方總督府は產米增加を企畫する爲め未墾地の開拓等にも獎勵を加へつゝある折柄右保留地を適當に調查處分すれば耕作上重要なる部分は之を水田と爲す方針なりと

◎鮮米輸移出餘力
尚は一百萬石內外あらん

大正六年產米の輸移出高は既報の如く精米を正米に引直し全量二百三十萬石となるに付六年產米に比すれば百二十餘萬石の增收となれる七年產米の輸移出力は一百五十萬石を算する勘定なるが果して如何の數字を現はすべきか何分▲農村景氣の好況あり消費米激增し居るべしとの觀測もあるが又一面には破的の高價の米とて鮮人の喰ひ控へは少なからず反つて移出餘力は例年に比し多からるべしとの觀測も生れ居れり然し乍ら滿洲粟大輸入の事實もあり七年產米の輸移出力が一百萬石を下らざるべしとの意見は必ずしも過大の見積りにあらざるべし果して然らば今後尚ほ幾許の輸移出を爲し得るかと云ふに一月末までに輸移出せし數量を聞くに八十三萬零五百七十石にして之れを前年の一月までに於ける▲輸移出高と比すれば大差なく作柄の不良なりし六年產米に比して目立ちて少量なるを見る乃ち

年次	翌年一月迄の輸移出
四年產米	八六三、二二一五石
五年產米	八〇八、五三五
六年產米	六〇三、一六五
七年產米	八三〇、五七〇

にして本年二月中の輸移出數量は內地に比し鮮米割高にして不引合のため移出し多からず二月二十日までの所十四五萬石に過ぎずとすれば恐らく七年產米の輸移出は尚ほ百萬石を出でずと稱するを得べく旁々石を剩し居れるものと見得べし

▲黃海道米 黃海道は米產地として聞ゆ年々に六七十萬石の輸移出力を有し居るが昨年は流行性感冒等のため結氷前の積出し多からずその後鐵道による仁川京城方面への廻送若干あれども尚ほ五十萬石內外を剩せりとの事にて三月に入り解氷せば黃海道米の海浦仁川出廻りは殷盛を呈し當然正米安を現じ米價の暴落を誘致すべしと云ふ

◎吉會鐵道踏查

支那交通部特派員五十八名は吉會鐵道踏查の爲め二十二日夜奉天着二十一名は同地より會寧を經て吉林に向ひ二十八名は二十三日長春に着し二十四日吉林に赴き同地より會寧に向け出發双方より踏查の筈(長春特電)

◎殖銀滯貸整理
三島頭取談

朝鮮殖產銀行にて農工銀行より引繼ぎたる滯貸の整理狀態に付き三島頭取の談を聞くに農銀より受繼ぎたる滯貸は口數▲六百二十餘 その金額二百九十餘萬圓なりしが右の內擔保の見込み十分あり又債務者の關係等にて回收の見込み確實なるもの二百餘口百十萬圓を算し結局缺損として整理を要するは三百餘口百八十萬圓內外と計上されたるが然るも十月より十二月に至る三箇月間に於て取引されると思はれし百八十萬圓より幸ひにして十五萬圓程の回收をなしたるに付目下の所缺損となるべきは百六十萬圓に對する計算としては六農銀の金六十餘萬圓をその償却引繼ぎ殖銀の積立となしたるに付此の分を除けば整理を要する滯貸は百萬圓に過ぎざる譯なり然も右百萬圓に對しては政府の▲無利子貸下金 百四十五萬圓あり朝鮮銀行より極めて低利なる資金一百二十萬圓の特貸ありその他鮮銀より數百萬圓の低資の融通を受くる事となり居り旁政府にては創立後十年を以て滯貸整理を完了するやうとの意向なるが予は以上の資金の運用により尚ほ短期に之れを行ひ得べしとの自信を有す第一期には諸貸增額のため滯貸に繰入るべき資金の餘裕あるを若干期の銷却を行ひ一方滯貸の調查を進め着々整理の步を進むる心算なり

◎三井持米積出
思惑買放棄

三井物產京城支店にては米穀思惑買に對する世論の非難と銀行の金融警戒により過般來全く買付けを中止し居れるが目下各地に手持せる數萬石の實米は先高を見越せる高値時代の買取りにて低落せる今日の時價により內地移出をなすは少からざる損失を受くるも此際止むを得ず全部內地に積出すべく手配り中なりと尚ほ米穀方針の一變に伴なひ種々協議の必要ありとし高野支店長は米穀の思惑に就て不安を有する釜山出張所主任小林某を招致し打合せを行ひ居れるが要するに今後は移出引合米以外に手を延ばさゞるもの、如く從つて鮮內米價の逆轉を來す如き事はなからんとの觀測多し

◎聯盟案と米伊
米國意見區々

國際聯盟案の發表後米國及び伊國の輿論に關し其筋に著したる電報左の如し(東京)

▼米國 國際聯盟案の發表と共に米國の諸新聞は總て論說を揭げたるも概ね平和保持上幾分か利益ありとなすも米國の主權を制限するものなるを以て憲法の改正を行ふにあらざれば之を採用す可からずとなすもの多く又上下兩院外務委員中民主黨に屬するものは概して贊意を表し又共和黨の上下院議員の有力者等は未だ贊否を發表せず一部の共和黨議員は主權の制限モンロー主義の破壞を理由とし之れに反對し日支兩國民の移住問題メキシコ問題等を仲裁判に附するが如きは危險此上も無しとなしありタフト氏は旅行中該聯盟案は將來改正を要する點少からずと雖も全然無價値のものにはあらざる可しと語り[illegible]統領は國際聯盟は大成功と認むる一も無く之に對するに今日の形勢に於ては一大問答を要すと觀測あり又陸海軍の政策は[illegible]の成立と共に大いに研究を要すと稱し居れり

▼伊國 伊國の國際聯盟に對する朝野の輿論は國家の主權は法律上國際聯盟の下に從ふ可きものにあらず唯國家は自由意志を以て國際聯盟に加入し國際上の義務を履行するものなり國際聯盟と國家の機關にして國家の上に超越するものにあらず若し之を以て歷史の關係を無視し政治上法律上の關結を發生したるものと思惟するは誤りも亦甚だしきものなりと云ふに一致せり

◎サモワル會講演會

朝鮮サモワル會第二回講演會は既報の如く二十三日午後京城日の出小學校講堂に於て開會加藤巡吉氏の『鮮露貿易に就て』本間總督府事務官の『物資の缺乏より見たる西伯利の經濟狀態』等有益なる講演あり頗る盛會なりき

人事消息

▲天野喜之助氏(群山府尹)廿三日夜入城浦尾へ ▲住田辰太郎氏(實業家)同天眞樓へ

烏瞰録

▲他人の病氣を癒すに病む譯ではないが實際今の支那は危ないものだ▲歐洲戰爭繼續中には日支の關係も順調に進んで居つたので何の不安もなかつた▲と云ふのは茶々を入れる者がなかつたから兩方とも事實の親善を示して居た▲平和克復となつてから今迄指を啣はへて餘儀なく見て居た連中が躍氣になつて飛び出したから堪らぬ▲元來が事あれかしと云ふ騷動好きの歐米人の事であるから火に油を注ぐので火は益々燃える▲此の間の小幡公使事件なども全く其の手であつた事が解つて來た▲眼色毛色が變つて居る丈油の注し加減も猛烈で遠慮なく遣る▲是等の連中は此方へ飛沫ちり位は覺悟の前だから茶々の入れ方が又大袈裟に出來て居て公々然の鼻は高い▲其邊に日本人などには竟似の出來ない處がある▲英國公使の援助に依つて昨年十二月から開始した中美通信社などは公然日支離間の目的だから恐れ入らざるを得ない▲其れが有る事無い事取り混ぜ八方に與太を飛ばすのみならず▲天津の華報上海の字林西報東方新聞を始め北京の華報英文北京日報益世報等と連絡して排日の材料を供給して居る▲上海のミラーズ、レヴューなどに至つては最近號の誌上では我對朝鮮策に對して大々的誹謗を試み遺憾なく中傷をやつて居る▲イヤ早手の付けられぬ厄介物である▲米國の正義人道などは東洋には關係がないものと見ねばならぬ▲西洋ものは調法に出來て居るワイ▲其れはそうとボカ〜暖かくなつて來ると得手して春先きには逆上するものだ危險々々お互に用心する必要がある▲支那から云はすれば餘計なお世話かも知れぬが親心子知らずでは一家は立ち行くまい

大阪より

▲世界的物資 移動開始して拂々[illegible]進まざるのみならず運送も多きに窒し之を內地に輸入すれば[illegible] ▲市價の衝落 [illegible] 石油、綿花、印度よりは印棉、[illegible] ▲世界的荷動きの萌す[illegible]年同期の一千萬圓の四[illegible] ▲大阪の趨勢 [illegible]

京日案內

電話 普通一回前金(最少限二十字)番外一回前金 ▲申込中止の前は料金不[illegible]

融通 月收の御方へ極秘迅速信用貸 土地家屋諸券債券讓受擔保 京城大和町三ノ三二 起木屋

店員十名入用 但十五歲以上五十歲迄 京城黃金町二ノ一二〇番地 大橋商店

代診 看護婦及見習 看護婦入用希望者來談あれ 仁川 小倉內科小兒科病院

職工入用 仕上職工 旋盤職工 日給一圓八十錢 至急 京城岡崎町 中根工場

助手看護婦 見習看護婦採用 希望者履歷書及面談を要す 京城明治町二 久枝肛門病院

恩給年金 低利融通 昨年來出征不在中營業仕候 京城吉野町入口左側 電話一五一一六番 山口屋

◎薩摩琵琶教授 教師有馬一聲氏 櫻井町一ノ一一福山方 一聲會

看護婦及見習 十六七歲の者至急入用 希望者來談あれ 京城若草町大通 今村醫院

外交員募集 販賣員相當の收入あり 年齡を問はず御希望の方は午後六時以後來談ありたし 京城旭町貳丁目 初音館內 藤井

金融 官吏、教師、會社員、保證人不要 輕便なる御融通 本町三ノ四六 開教院寺通 大和屋

農家と肥料!!!

肥料の季節は來れり

朝鮮內に製造さるゝ肥料にして價格の廉なると成分の確實と肥効卓絕の定評あるは獨り當社製造販賣の肥料あるのみ

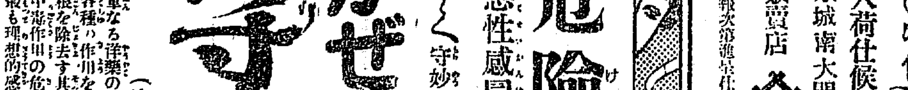
京城工業株式會社 京城光熙門外 電話長一三五六番 振替京城五四二番

工場 京城光熙門外工場 電話二三五六番 京城東大門外分工場 電話二六三五番

▲星印 硫酸アンモニア肥料 完全肥料各種(苗代肥料 稻作肥料 桑作肥料 麥作肥料 煙草肥料 棉作肥料 畑作肥料 果樹肥料 園藝肥料其他)

蒸製骨粉 過燐酸石灰 智利硝石 硫酸加里 大豆粕 荏粕 骨粉及粉末 米糠 胡麻粕 蹄角粉 魚肥 組工用(地骨) 骨炭 骨灰 牛脂 膠及膠原料 等

見本は御申越し次第呈上仕候 現物の外先物の御約定も仕候 本社製品は品質最も優良にして迅速に仕候



危險! 惡性感冒大流行……

早く守妙を御服用あれ!!!

かぜと婦人冷込に 守妙

(守田の妙振出し)

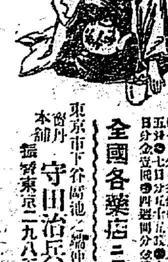
守妙は單なる洋藥の解熱劑と異り各種の作用を以て完全に病根を除去す其他洋藥の如き中毒作用の危險絕對に無く最も理想的の感冒藥也

●主治効能 ●風邪發熱一切●頭痛逆上●足腰の冷込●婦人冷込諸病に大効あり

定價 ●一日分金拾錢●三日分金廿五錢●七日分金五拾錢●十二日分金壹圓●四週間分金貳圓

全國各藥店ニアリ

東京市下谷區池ノ端仲町 本舖 守田治兵衛 振替東京二一九八五番



商標 登錄

財團法人 電機學校生徒募集

■(晝)豫科一期、本科一期 ■(夜)豫科一期、本科一期、高等科、電氣化學科 ■講習生 ■校外生(特殊の通信教授)(普通の通信教授)隨時入學許す ■規則書郵送 ■東京市神田區錦町 ■電話神田

東洋園藝株式會社

內外各種子 山林果樹苗木 高山植物 盆栽 農園藝器具 溫室 庭園工事 其他一切 計畫設計

春の營業案內 御一報次第進呈 (大隈侯 五博士 顧問) 東京內藤新宿

軍隊拂下大安賣

茶褐外套、毛布、冬茶褐小倉服、アイボーシャツ袴下、冬羅紗服、ジャケツ、軍帽、靴下、雨合羽 右特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候

龍山元町二丁目 川本衣服店 電話五六、振替口座一五六九

果樹園害蟲驅除の時期來る!!!

北印 濃度石灰硫黃合劑

本品の特色(品質優良 價格低廉 効力偉大 容量潤澤)

右多數入荷仕候ニ付續々御注文願上候

京城南大門通四丁目 特約販賣店 駿府商會 (說明書御一報次第進呈仕候) 電話長二[illegible] 振替京城三八四

[illegible]市場は[illegible]如く觀測され居れるが海運市場の現化を要するに[illegible]を喚起すべく一般豫期されたるもの[illegible]のなりしが事實は期待の裏を搔いしため滯貨一億六千萬ブッセルの

▲商談期待外れとなり[illegible]が主要食糧品たる麥粉にして既に[illegible]然りとすれば其他の食料品、日用[illegible]要に迫らるゝ本邦に在りては原料輸入の必[illegible]する結果、米國よりは鐵[illegible]い獨り歐洲航路は約定品の荷動きを免れな[illegible]せざるべく殊に貿易は自ら輸入[illegible]旺盛にて輸出不振を免れぬ限りに[illegible]對貿易は遞旬入超を續け二月上旬迄の入超累計四千百萬圓に上り前

○鹽攻めの内地
當分生産増加の見込みはない　止むを得ず支那鹽の輸入

總督府專賣課長今村武志氏は過般來内地へ地視察中なりしが歸來語りて曰く

△内地も鹽の不足で大分困つてゐる様だ然し之は鹽の生産が少くなつた譯では無く一般に一人當りの消費量が非常に增加して來たのと漁獲も增して沿海州方面へ輸出される量が多くなつた等の原因である專賣局でも生產增加を圖ればよいのであるが日本で出來る鹽は總て煎熬鹽であつて近來の燃料騰貴の際迚も引合はぬ爲め製造業者も續々轉業する有様で擴張も出來ぬ所から全く困つてゐる様である何しろ煎熬鹽は百斤の鹽を得る爲めに目下の百斤の石炭を要すると云ふ有様である夫れで主として支那方面の天日鹽に仰いでゐるが原鹽は純白で無く赤黒い色がついてゐる爲めに一般の嗜好に適せず之を再製しなければならぬ手數がある山口縣

△三田尻に も今度五十萬圓の費用を投じて一大再製鹽工場を拵へてゐるが此原鹽を其儘食用にする事になれば甚だ好都合だと思ふ之が健康に害があれば問題であるが左も無い以上原鹽でも充分である將來は怎うしても此原鹽に依る事にしなければならぬと考へて居る近來内地の鹽不足を官營の罪の様に見てゐる者がある様だが之なども

△間違つた考 で若し民營であつたならば大會社大資本家が獨占して了つて自由に價格の釣上を行つた日には國民は今日以上に困るであらう何故なれば鹽は利益の薄いもので從つて量を多く取扱はねば引合ふものではないので大資本家に兼併せられる事は必然の勢ひであるからである米騷動が起つても一口に『米鹽』と呼ばれてゐる位重要な食料品である鹽に對してまだ

梅一枝折り取つて妹とこりにけり　雲坪子

梅日和

○甍去せる伊東男
夫人は佛國人

二十二日朝甍去せる伊東義五郎男は山本權兵衛伯が橫須賀で砲術練習の際浦賀司令だつた頃教官を勤めた位で砲術と水雷に就ては隨分研究をした酒も莨も口にせず散步が好きで屢々郊外に出かけた至極ハイカラ趣味で居宅も洋館のみ食事も洋食ばかりである滿里子夫人は佛蘭西人で其令弟は佛國で有名な音樂家だから男夫妻も音樂に趣味を有つてる本野盛一氏の夫人は男の令孃である

△鹽暴動の 起らぬは專賣の爲めかも知れぬ專賣局も賣の儲で埋合せて居るからいゝ様なものゝ決して鹽では儲かつては居まい

○懸賞貯金標語の審査
好いのは尠い

遞信省貯金局が懸賞で募集した貯金標語は應募人員三萬三千五百餘名但し一人で二十、三十、甚だしきは三百枚も封入した者があるので標語の總數は十六七萬を下らない見込みである審査は天岡貯金局長竹内東部遞信局長及び省内高等官三名其他杉村楚人冠氏等の省外囑託者が吏員數名と共に每日カードに書き直したのを姓名を匿して二三千枚づゝ審査してゐるが今までの所ではまだ餘り佳いのはない『貯金』とか『成金』とか『蟻』とか云ふ言葉が多く且つ昔からある格言の燒直しが多いと云ふ事である

○前獨皇子逮捕さる

獨逸廢帝第六皇子は伯林に於ける或る陰謀に關係ありとの嫌疑にて逮捕されたり（コーペンハーゲン電報）

○關門去來の外國人
五箇月間の合計　一萬四千人

朝鮮を通過する外國人の數は既報の通りであるが更に日本の大玄關たる門司下關兩市を往來する外國人が一箇月に幾人あるかと確な調査を聞くに客年七月から十一月までの五箇月間に合計一萬三千九百五十名なりと計算されて居る無論、西伯利、南滿洲、朝鮮方面を經由の者は下關に大連上海航路に依る者は門司に寄港し又は上陸して

◇名所舊蹟 の遊覽をした序に土產の品々を買求めるものと本土九州間の往來者で長崎港から乘船又は下船するものと尚日本在留外人の往來も此の總計に加算されて居る而して門司寄港船の乘客は下船者頗る尠く乘船者稀には直接下關から乘船し又下船する者もありて外人徂徠と關門の關係は頗る複雜で統計を作るに困難視されて居る

◇是を月別 にして示せば七月歐米人一千八百二名、支那人一千六百七十四名、八月歐米人一千六百五十八名、支那人一千六百三十八名、九月歐米人一千五百二十七名、支那人一千六百二十七名、十月歐米人一千二百六十八名、支那人一千百五十八名、十一月歐米人九百六十一名、支那人五百八十七名と算せられ即ち七月三千五百二十六名、八月三千二百九十六名、九月三千百五十四名、十月二千四百二十六名、十一月一千五百四十八名で歐米人合計七千二百六十六名、支那人合計六千六百八十四名となつて居る

◇戰亂當時 に於てすら斯く多數に上るが愈平和克復の此の櫻咲く彌生あたりから硝煙彈雨に惱れた各交戰國の紳士と婦人が富士山と武士道と繪日傘とゲイシャのある國へ續々と觀光と洒落るべく關門に於ける外人の徂徠は益々以上の頻繁を加へるであらう

○我國最初の畜產博
三月十八日から不忍池畔で開會　會場八分通り出來上る

長閑な春の陽に人の心も輕く日一日と行樂の賑ひは益して上野の春を飾る博覽會季節が迫つて來た花笑ふ三月十八日から五月末迄不忍池畔には我國

▽最初の試 みである畜產工藝博覽會が閑院宮殿下御總裁の下に開かれる會場も早や七八分通りの出來で竣工は今月末の豫定さうつて目下は二百名の大工や左官鍛冶工連が懸命に働いて居る正門は獨逸のハンブルグ門擬ひのもので門奮は二匹の象が柱を抱き長い鼻で十二支崩しを卷いてる圖である正門を入ると兩側は小さな

▽模範牧場 で左手は農商務省出品の牛馬、右は緬羊十五頭の放養場何れも三十間乃至二十四間の五姓田芳柳伯が心血を灑いだといふ牧場の背景が添られてある別館に拵へた六百坪の植民館は朝鮮、關東州、滿蒙、青島方面の出品物で埋まり李王家からの生きたす、猿や滿洲の黑狐等が放たれ工藝品では虎、豹、猿狐、熊の皮が陳列されるといふ三館の中央には山水を集め高さ

▽六間の櫓 を築き風車を中懸けて牧場の飲料水を吸ひ上げ池には鵞鳥や軍鷄等の水禽を浮かべて觀客の目を樂ませる仕組である、此外餘興館、賣店の設備があり中にも賣店には精養軒の羊料理神奈川子安農園の牛豚鷄料理等が出來極めて大規模の設備である同會の藤井庶務課長は語る『一言、畜產工藝品といふと簡單だが其範圍は頗る廣い先づ絨毛製品では羅紗、毛布、帽子類皮革には靴、鞄、袋物、化學工藝品には毛織物染料、ラード、角や骨からは種々の細工物が出來る此外食品、器具機械に至るまで畜類の

▽恩惠を蒙 つて居らぬものは殆ど無いと言つてよい、然るに日本人は案外此方面に知識が無いので之を知らしむる一方畜產獎勵の爲に本會を開いたのである出品は日本全國に亘つて居るが一番多い出品縣所は東京、京都、神奈川、大阪の三府一縣の三百坪乃至百五十坪の陳列場申込みで點數は恐らく十萬點以上に上ると思ふ』（東京）

○心は日本人
と云ふ露國美人　朝鮮から東京へ

一兩日前日本語の非常に達者な露國婦人が南大門を通過した婦人の名はエーリンと言ひ本年三十四歲の頗る美人で双の頰に微笑を浮べて斯う語つた『私の生れは莫斯科であります數年間同地の女子大學の教授を勤めてゐました夫は陸軍の軍醫で一昨年本國の革命と共に死しましたので其後本國に居るのが恐ろしくなり長春に旅館を經營してゐます

△姉の許へ 行き世話になつて居りましたが以前十六年間も居つた日本が急に戀しくなり再び參りました次第であります私は外國人の服を著ては居りますけれ共心は日本人の積りでゐますから日本語も研究した譯です東京や京都に參りますれば以前に私が習つた大學校の先生が澤山居りますが他國語として英佛獨と

△三ケ國知 つては居りますけれ共日本語を知つてからは外の國の言葉は餘り用ひません昔から日本と言ふ國は出る國と云はれ景色の勝れた國で世界の公園とも云はれてゐますのは無理もありません又日本婦人の服裝の美しいのも私の憧れの一つです是から宮島を見物して東京に參りますが歸國は何時と言つて豫定はありません』

○陽氣に誘れて
暖ふた日曜の盛場

ボカ〱と暖かい陽氣が續いてメツキリ春らしくなつた殊に廿三日は朝からの好天氣其上日曜であつたので折柄開會中の技藝女學校の成績品展覽會に足を運ぶ者が頗る多かつたお蔭で賣上げがドツサリ有つたと學校ではニコ〱して居た一方漢陽公園や南山公園又は昌慶苑へ足を運び一日の清遊を試みる連中も隨分見受けられた中には其歸りを利用して雛人形の陳列を見て步く者も却々多かつたので市中は意外に賑つた

◇繡眼兒の飼方
良く囀くのは三月から　餌の割合と囀せる方法

◆素人にも面白く通人にも趣味の深い飼鳥は差當り繡眼兒でせう、繡眼兒自身が先づ胃を張るのは三月からです之を幾分早く鳴かせるには一寸した呼吸を要します、繡眼兒は陽鳥で一名喧嘩鳥といはれる位で他の姿を見ると無暗に突ツ掛りたがる性質であるから風呂敷で籠を包み矢張り繡眼兒を飼つてる家へ持つて行つて對手の聲を聞かせると風呂敷の中の繡眼兒も負けずに鳴かうとします又木の上で野鳥の繡眼兒が鳴いてる聲を自分の鳥に聞かせるのも一法です

◆次に威勢を好くする爲め晴天の時には一日一回水を浴びせる方が宜い而して水浴又は日光浴をさせ再び家の中に入れるのですが中には水では寒からうと湯を加へてやる人がありますが是れはいけません却つて浴びるのを厭ひます

◆終りに餌は無砂搗の糠一升玄米三合青大豆一合半を別々に焦げぬ程度に煎りそれを擂つて粉にして交ぜ合せます而して其の混合餌一匁に對し鯷四分（三月末迄）四月から三分を加へ更に少量の青菜を入れて作ると鳥の健康にも聲にも宜いやうです

○內地人を半殺にす
誤つて殺された少年の讐を討つとて　二百名の鮮人が總懸り

去る十八日午後二時過ぎ慶北醴泉郡長川面下里洞宇野四郎長男武一（十三）が誤つて鮮童を射殺したる事は既報の如くなるが今其詳細を聞くに前記武一は父四郎の獵銃を密に持ち出し若木郵便所長の弟なる黑川新彥（十九）同地尾野潔（二十）の兩名を伴ひ

△遊獵に赴 き山東面林泉洞巡査駐在所の西半里長川河畔に於て鴨の遊泳するを認め之を狙ひ廻せしも結局失敗に終りたるより三名は其儘附近を逍遙しつゝ曾て學校にて習ひたる操銃教練を復習する事とし宇野は獵銃の彈丸を拔き取るを忘れて立擊の構へをなしたり此時七八名の鮮童は三名の者を取り圍み物珍らしげに眺め居たるが其中に如何なる動機なりしか宇野の指先が突然

△彈金に觸 れたるより彈丸は轟然たる音響と共に發射し前一間半の處に佇み居りし前記黑川面金田洞金學出の長男金兆伊（十三）の右頭部に命中して是を即死せしめたり意外の椿事に宇野は大いに驚き直ちに自殺せんとしたるも二友に抱き止められ結局宇野は尾野を現場に殘し置き黑川と共に長川駐在所に屆出んと四五丁ばかり行きたる處へ被害者金の居村たる

△金田洞民 が來懸り兩名を現場に引戾し尾野諸共荒繩を以て縛めたる上亂打し更に一同へ引き立て約二百餘名の洞民が總懸りにて暴行を加へ殆んど半殺しの目に遭はせたり急報に接するや長川駐在所員及び普山署員仁川憲兵派出所員等驅付け漸くにして洞民を鎭撫し三名を救ひ出すと共に取敢ず主謀者と目すべき

△鮮人五名 を普山署に引致し取調中なり一方暴行を加へられたる宇野は打撲切傷にて治療三四週間を又黑川尾野は治療一二週間を要する打撲傷を負ひたるが此兩名は其後發熱の爲め却々の重態なりと（大邱）

○三人組强盜
利鎌で脅迫す

二十二日午前二時半府內臨昌洞百六十三番地姜大熙方に三名の强盜押入り利鎌其他の兇器を以て家人を脅かし現金百六十三圓金若及び衣類二點を强奪し何處へか逃走したるが犯人は嚴探中なり

○噫の公判

既報の如く去る十五日瑞興驛に於て職工用の乘車券を竊取し南大門驛長一ノ瀨武內氏の僞名を用ひ同認印を僞捺印なし南大門長崎間の往復乘車券を僞造せし不敵の驛渡邊春造に對する文書僞造行使詐欺未遂の公判は二十二日釜山地方法院にて開廷せられたるが更に來る二十七日下村判事係り遲田檢事の立會にて公判開廷言渡しある筈尙ほ同事件の問答には判官も大いに苦心し居れり（釜山）

○却々下らぬ洋服地
羅紗もセルも一割高くなる

メツキリ春らしくなつて來たけれ此頃、羅紗の値が大變に安くなつて春の合著を拵へるに都合がよいと喜んでる向が大分ありますが事實はこれと反對に

◆問屋でも 小賣りでも平和後需要者が多くその爲に品薄を來し却つて一割ほど高くなつたと稱して居ります、で合著の洋服地の現價を二三の問屋に就て聞いて見ると薄羅紗の上物のうちのヨールステツツトが一ヤール十一二圓から十六圓、サクソニーが十四圓位、絹の入つたロンドンシユランクが十六圓見當、ズーツと下つては一ヤール七圓位が止まりで色は茶がすたれ氣味で青味がかつた落ちついた鼠が喜ばれ縞には白の交つた割合に細かい微塵くづしや

◆細い縞が 一分位の巾に入つてゐる意氣なものが歡迎されてゐます工賃は春廣一著について十圓から二十五圓までの割で事前に比べると之れ又サツパリ安くなつてゐません子供の合服地も大抵薄羅紗か、ホームスパーンの類で色は青みのあるもの紺など明るい色の方が出ますこれも工賃を加へて仕上げた値は一番安いところで七圓高いので二十圓位までが止まりですセルは目下和製のものに限られ一ヤール二十七吋巾で三圓七十錢、大巾にしますと七圓そこ〱です、故に著物には二十七吋巾のが六ヤール半入りますから一反にすると約十七圓五十錢ほどかゝりますこれも

◆平和の後 に一割ほど騰つたとのこと和製だのに何故騰つたのでせうと聞くとお米が高いからといふやうな事を口實にして居ましたセルの縞柄は今まで大抵縱縞ばかりでしたが今春から橫の粹向きなのが大分出て來ました色は青味を帶んだ紫系統や背に皺つた鼠、茶はもうすたれ氣味で其の色の黑もすたれて來た相です

■役者の外遊熱
藝者までが御同様

守田勘彌の洋行說は隨分久しいものだがそれが動機となつて猿之助も勘彌と一緒に行くとの說があり又、仲からは松居松葉、白井信太郎、山崎三九郎の三氏帝劇からは伊坂梅雪、河本勘雪兩氏それから根岸興行部の小泉丑治根岸吉之助兩氏も行くさうか、俳優では河合武雄、井上正夫、上山草人夫妻や始めさし鴈次郎や松本幸四郎等の洋行說まで賑々やかに立つてゐる。一方藝妓の洋行も流行し始めた。曾我家五郎の情人なりし大阪藝妓今は東京葭町新叶家の山岩は五郎と一緒に外遊した事があるが今度は赤坂藝妓の金利金のおキンさんといふのが四月出發し外には新本の武美川、おタカなども平居の國が見たいと[illegible]中だそうな

○七百圓を拾ふ
兼二浦

本町羅州商會雇人韓景伯（十八）は去る十九日兼二浦郵便局內に於て百圓紙幣七枚即ち七百圓を拾得駐在所に屆け出でたるが其後右遺失主は兼二浦本町上田昇なること判明し同人に下附したるが上田は韓に對し即時三十五圓を謝禮として與へたりと（兼二浦）

○親の金を持出して

慶尙南道密陽郡密陽面府北里居住岡山縣赤磐郡高陽村生れ矢吹正男（二〇）は十八日實父の金子二百圓を持出し內地に向ひたるが十九日午後五時釜山着の連絡船高麗丸より下關に上陸せんとする所を取押へられ叔父植田綱治に引渡さる

讀者文藝

小品文『四温』　京城　寺尾夢草

步み行く足音が常になく多い様だ。讀書に倦いた彼は生ぬるい欠伸して本を閉じた。障子にはふくよかな初春の日がいつぱいあたつて恰度微溫湯にでも浸つた樣な心地のする日である。緣側では白髮妹が始まつたのか、老母のゆるみかけた話し聲が聞ける、彼は煙草のすひ殼から崩れ落ちるのも知らず。暫時ぼんやり聞きされて居た（二等）

○　京城　美人草

雀が囀むで居る。やはらかい陽が庭一面に流れて、赤い四をした妻は貼物に餘念がない。隣の女が水を汲みに來た『暖かですね。マア御精が出ます事』『ホヽ今日みたいな日に縫ませんと』妻はにつこり笑つて井戶端の女を仰いだ。遠近い旅陽がやさしい新妻の瞳にまぶしく輝いた。（二等）

一等なし

次回新題『春』▲締切二月五日▲發表三月中▲賞品一等（一人）一圓商品券二等（二人）五十錢同上

一滴ですぐ白くなる

日本に初めて出來た

純白美乳（ホワイトビニウ）

定價金拾錢

何故純白美乳を外出の前に必ず一滴塗ける習慣のついた方が何處へ行つても美の焦點として衆目を惹くのでせう乎、斯ういふ噂が近頃婦人社交界で話題になつてゐますがそれは純白美乳を一度御使用になれば誰樣でも直ぐ成程と合點が參ります。卽ち評判の日本に初めて出來た生地から色を白くする美乳のあの不思議の美白素を基礎として更に濃厚秘料を配合したのが此品。ですから美乳を家庭で朝夕常用し十二分に生地を整へた上いざ外出といふ時タツタ一滴此の純白美乳を塗ければ忽ち水際立つた化粧薬効果の顯著さは博士も驚嘆した程……

奥様方には……美乳！

令孃方には……純白美乳！

本舗　大學白粉本店　矢野芳香園

生徒募集　第一學年生徒百名第一學級募集　詳細ハ本校ニ就キ承合スベシ　京城府蓬萊町四丁目六番　私立養正高等普通學校

◉涙の家　二十二日二十三日午後七時にはや滿員入場御謝絶致候は御氣の毒に存候遠路御同情の御客様には特に早く々々御出掛け被下度候　二十四日正午後六時開演　黃金館

最新刊
▲大正八年國民年鑑　八十錢　送十錢
▲國民講話　一、〇〇　六
▲應急手當と療法家庭寶鑑　七〇　六
▲御珍娘節用　定價九十錢　送料四錢
▲信託及信託會社計細矢　二、五〇　二
▲商業通　定價一圓五十錢　送料十二錢
▲悲戰九年カイゼルの告入失敗と大成功　一、五〇　特一、六〇
▲佐藤紅綠　春の流　定價武圓　送料八錢
山へよする　久夢　二、〇〇　六
名流趣味百話　石川　一、〇〇　六
京城本町一丁目　大阪屋號　電話六四番　振替京城二五七三番

麻、綿糸ハツ打綱、シデ紐、源平糸、帳綴糸、細引、タコ糸
麻苧、マニラロープ
麻繩、玉糸　各
綿糸撚糸、棕梠繩　種
○地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計可申候
京城本町二丁目　㋲森政吉商店　電話一五九四番　振替京城一七五八番

てんかん病と子供のヒキツケ脳
神經衰弱で困る方切手三錢送れ永年の病も自宅で人知れずとなほる最善療法の詳細を無代で知らす速に申込みあれ多數の全快者あり
●名古屋市中區南小川町　救生館

青星印　カーバイド　新荷到著
破格値段を以て販賣可仕候間精々御用命願上候
京城南大門通五丁目八番地　岡木村商會　電話長一三六四番

內科　胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話一三七九二〇九番

○大根下しに 飴＝よく利く

＝◎感冒と咳に

胃腸病に罹つて消化不良に苦しむ者や酒肴其他の中毒並に食ひ過ぎた時には卸し大根を食ふと消化を助けると云ふ事は世間で言傳へられた事であるが今梁氏の研究に依ると流行性感冒や昨今の

◎酷寒 に絶わず咳嗽が出るとか又は老人が喘息に惱み腹細ると云ふ時には此卸し大根を水飴に混じて食はすれば下手な醫者の手當や賣藥よりも効果がある△腹痛眼痛殊に手足齒痛みで寝ても起きても居られぬと云ふ時に此卸し大根を紙に延べて其の痛む所に貼付ければ熱が散じて痛みが取れる更に

◎血が 鼻に交りて出る時は卸液に鹽を加へて飲み而一生大根の無い時は其の根子一匁に柴蘇一匁を加へ之を煎じて飲んでも好い又酔を以て生命とする者が啞れた時、玉子を飲んだり各種の藥を用ふる樣であるが之れも大根の液を熱湯に交ぜ白砂糖を加へて飲めば安値で早く直るそれから又衣服に油がついた時此卸し

◎大根 の液を少し溫めて洗ふと綺麗になるし大切な掛軸や其他日本紙に墨の附著した時大根をこだ薄く切つて其の附著した部分の表裏に之を當て、静かに手で叩くと其の大根が墨を美麗に吸ひ取つて了ふ又雨風のよく當る窓障子や臺所の入口の障子に種油をひいて裂け破れを防ぐ人が多いが種油は紙質を強くはするが色赤ばみ塵芥を吸込んで非常に見にくゝなるが大根卸しを絞つて其の液を

◎刷毛 で引くと何程雨風に曝されても裂け破れないばかりか少しも色が付かぬ更に生花用の草花や挿木接木の枝などを遠方に贈り又持ち歸る時其の枝莖を大根に挿込んで運ぶと營養分を含む水氣が絶えぬから非常に永く持つと云ふことだ

○卒業前 女學生達へ

もう一月ばかり經ちますと各女學校からは澤山の卒業生が出ます一月と云へば直ですから今から卒業前後の種々な心掛をして置くは最も必要な事でありますそれも角學校に居ります中は家庭の事を手傳ふの何のと申しても比較的

◎學問に 身を入れてる事が出來ますが一度學校の門を出たらもう全然學問に心を寄せて居られなくなるもので自分では暇を作つて種々研究する積りでゐてもどうも思ふやうにならないのが通例ですから宜しく在學中に卒業後取るべき勉強の方法や参考書などを

◎秩序立 つて考へて置き少しの暇さへあればあれを勉強しやうかこれを研究しやうかなどと考へる必要なく即刻其本が開けるやうに心掛て置く必要があります又卒業前なれば是等の参考書も手輕に先生に伺つて置く事が出來ますそれから注意しなければならないのは

◎机の上 の學問と實際の社會上の學問で學校では智識を注入し頭腦を堅める事は出來ますが婦人に必要な社交上の問題に至つては何うしても實際にやつて見なければ分りません來客の場合にはあゝもしやう斯うも云はうと心には思つて居ても相手のお客に依つてお喋舌があつたり

◎無口が あつたりして中々此方が思ふやうには行かないものですどうしても是等は幾度となく親しく其衝に當つて見なくては駄目です學校を出たなら今度は實際と云ふ事を今から深く心に止めて置く必要がありますそれから此事に就ては俗に龜の甲より年の功などと云ひ年を取つてゐる者は種々な事を知つてゐるものですから先輩や年寄の云ふ事は時代遅れだなどと

◎馬鹿に しないで能く之れを聞き判斷して能い言葉は參考にするやうにしなければなりません最後に最も注意しなければならないのは卒業から結婚までの三四年の間で婦人の十七八から二十一二までと云ふものは非常の誘惑の多い時で機會さへあれば誘惑しやうと魔の手は始終婦人を付け狙つてをります一度魔の手に捕へられたらもう終に

◎浮ぶ瀬 はないのですこれには最も意志を堅固にしてゐなければなりません意志さへ固ければ悪魔は決して爪を立てる隙はないものです是等の事は卒業前から能く心得て置くべき事です（某教育家談）

○私の簡易生活

麵麭一回米飯一回 一日二食主義

私方は主人と私と子共三人暮しで女中なしでは仲々急がしくて背が折れます。炊事や子供の世話に迫はれてぐづ／＼して居ると一日中食物ごしらへの爲めに掃除や裁縫や洗濯さへやう／＼で手紙一本書く暇も讀書する時間もなく

△身仕舞ひ ごころか手紙ますが其で私は主人と相談の上この二月一日から朝はパンと紅茶とにします、尤も主人は三年前から二食主義ですが只今生後八箇月の男子に母乳だけで哺乳しても私は

△何の不便 も空腹も感じません實驗上朝のパンは米飯より餘程お腹のもちが宜しいのです十二時に子供にだけ一寸したおやつを與へますが其外には一切間食をいたさせませんが皆丈夫で太つて居りますそして御飯の後の火でお惣菜を作りますが一食ですから左程の惣菜のある皆の好むものを胃擴張を起さない程度に充分取ります主人も丁度歸宅しますので

△一日一度 の賑かな食膳を樂く頂きます、お米も一度分だけ量つて餘分には炊きませんこの實行の結果朝起きてもパンを切つて紅茶をつくるより外に用事もなく、紅茶器には湯呑みを代用してそれを洗ふ丈でございます御飯はお櫃へ移しませんで客來のない限りはお釜を其儘臺に乘せて茶の間へ持て來てお膳のそばに置き

▲茶碗に盛 りますからお櫃を洗ふ手間も省ける第一に時間の經濟、第二に材料の經濟であるばかりでなく、私の胃腸も全治しましたし運動の劇しい子供達も何の障りもなく以前より健康になりました何卒皆樣も御試驗遊ばせ（某夫人談）

◇世界の種々

◇鳥の病院 米國コロラド、スプリングのアーノルド博士は、珍奇なる鳥の病院と云ふ物を樹てた廿五種から卅種の鳥類の入院患者を收容してゐる鳥の患者は張金に引掛つて田舍で負傷した者が多いと

◇飴のやうな鐵 鐵を熱しておいて、急に冷却すると堅くなると云ふ事は、世界誰でも知つてゐる事であるが、その反對の事實を、米國のゼネラル電氣會社で最近に實驗した即ち科學的に十分加熱した鐵を三時間の間華氏千六度の高溫の水素瓦斯中に入れおいたら銅よりも柔かく、ナイフで自由に切れる程柔かい鐵が出來たさ。

◇鯨の肉の分量 普通一匹の鯨の肉は、百四の牛、五百匹の羊の肉と同量が得られるさ。

日朝俳壇

○トロ軋る音 寺洞 文而玉

凍てし河面ら陽が辷り子供等に辷り
陸筋寄り添ひ病人ジツと眼をひらく
親に逝かれしこの子淋しく枯草を掻く
木肌擦れあふ山の香に鳥は唄ひ居る
咳いる兒の背撫でゝやる我手硬し
水桑提げし女に遠い山の雪
入陽の丘に凧あげし子が母に呼ばれ
枯草敷かれ兵隊みんな寐轉び
トロ軋る音寒う鎮山の夜は更けし

○京城 雑耳

木枯落こす楽々樹無く鋭い
匪縫にゐてする事のみが考へられ
マントの入風に吹きこまる町角の家
海に沈める島の灯がやたら戀しく
病扉の社に夕日あり千鳥群るゝ
誰にも叛きたい日の炭やたらはね

○寺洞 再生子

月に雲掃く手先に雲が影落とし
障渡る風の兄弟に蒲團被せかけ
子守の唄に鳴かずも首を振る巻
まだ凪ぎやらぬ潮の音鳴く鵠
汐の響きに鐘つきそめて暮るゝ島

○京城 白楊

冬木中に耶蘇寺の尖塔が鋭く
耶蘇寺の兒が唄ふ星寒き宵
氷挽くヨボ等に早も月出でたり
眼鏡が氷つてシグナルが悲し夜勤
夕陽に浸りて驛夫が今日も寒う唄ひ

○出雲松江 木葬侶乘

稻架未だ殘る山田や冬の雨
トロ入れて泥掘りゐたる冬田かな
山の溫泉や北斗煌めく峯冬木
殘照の峯めぐらして冬の湖
斧を出て潮に喰み出し冬田かな

（口今日の御惣菜）

◇野鶏 鶏の挽肉を尚ほ好く打ち饂飩粉を少々加へスープに鹽を少し入れて煮た中へ此の肉を入れて煮る

◇鯖の蕎麥蒸 蕎麥は一般に賞美せられてゐますがこれも料理法によりては美味を添へます、先づ鯖を三枚におろし薄身小骨を抜き醬油に浸して置きます、別に蕎麥を買ひ之れで魚の肉を包み蒸籠の中に竹の皮を敷きその上にならべ五分間程蒸しますこれを器に盛りつけ汁を添へおろし大根にもみ海苔のきざみ葱を添へ賞味さします

新刊紹介

▲少女畫報（八の三）臨時增刊讀み物も澤山ちやん向きの綺麗な面白きもので賑やかな雛まつり號を發行す（二十五錢東京々橋區疊町一東京社）

▲東洋經界（七）東京赤阪氷川町一十共社

▲飛行少年（五の三）壯快なる少年向きの記事が滿載す口繪插畫共に美事にして賑やかなり（二十錢東京々八丁堀二の一日本飛行研究會）

▲日本魂（四の二）純日本主義の宣傳（二十錢東京々橋區南傳馬町南同社）

▲少女（七の四）讀み物も繪畫も美しく面白きものを多數に揚ぐ（二十錢、東京々橋南鍋町二の一二時事新報社）

▲獨立公論（一〇の二）布哇にて發行せる邦文雜誌（十五仙布哇ホノルヽマウチヤント街キャンベルブロック二十共社）

▲鮮語者に答ふ罪狀……令部指示の在留地……應召館區町參加……督府にて與武の……ぜられたる由至の……伺ある當局より照會せん軍司令部……近來本町、某書店の斧に對し不親切……極めて驚々開く處なり一例を舉ぐれば去る十日五六人の……めんさせしに先方……ならぬは出さん……と傍若無人の言分けは……なりや……舌人は禁句……する品性の卑しさ……相手の顔を見……鎮んだる何……かけては殊に其の事實が現はれて來た此の頃で打ちやつて置くと最う滅亡りだ其の點では此の際断然……も設けて鳥獸の保護……や自己中心を以て論ず……る▲昨年……擇び……論などは取るに足らぬ……にある理學士△市街取締のやかまし……い今日何處へでも會社……されては大變だ……▲某城の……大佛の樣な……の居住者は……の者へがある（神經衰弱生）

○米國戰時財政

大藏次官は下院歳入委員會にて米國戰時財政狀況を說明したるが……（八）一九一八年上半季七十四億九千四百八十九萬三千弗（ニ）同年下半季百六億三千一百十四萬七千弗（ホ）一九一九年一月中十千八百五十六萬六千弗 三、歳入狀況（一）同期間（イ）六億四千四百八十四萬五千弗（ロ）五億六千九百……四萬二千……入五十一億三千一百二十萬六千弗 雜收入六億千五百三十五萬弗『パナマ』運河收入千二百六十一萬二千弗……

商務工務設置

……商務省にては商工局を分離せしむる爲め九千九百……られ前期議會に提出せらるべかりしも豫算查定の都合上今期に延期せられたるものにして……商工業の監理監督を要すべき消極的行政部面とに分離せしむる筈なく商務と工務とは兩分に離せしむる筈なりと從つて前者には現在の商……

光業ある御化粧料三十六種の內

ばら色……の鮮かに
美しい顔色……と

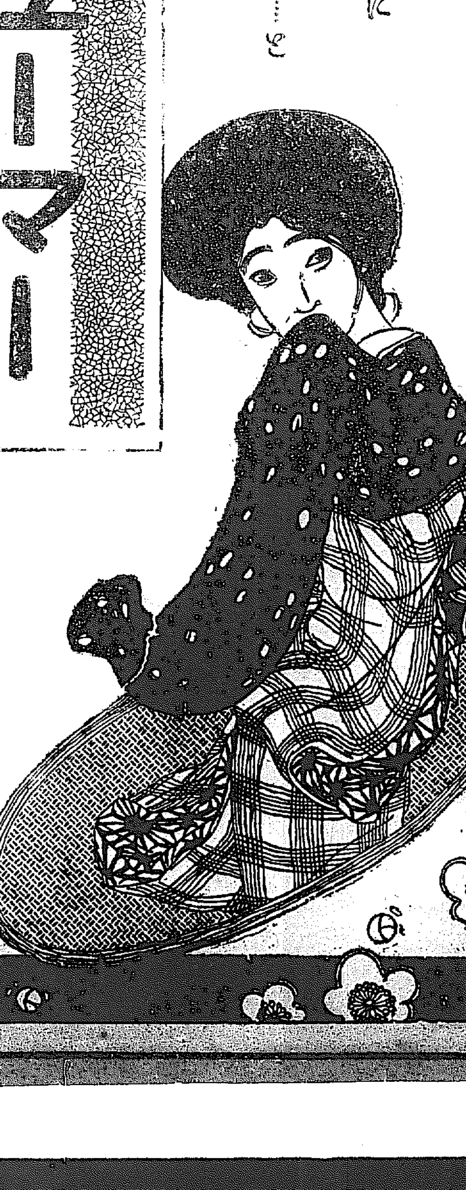
桃谷研究試驗所創製

美顔ユーマー

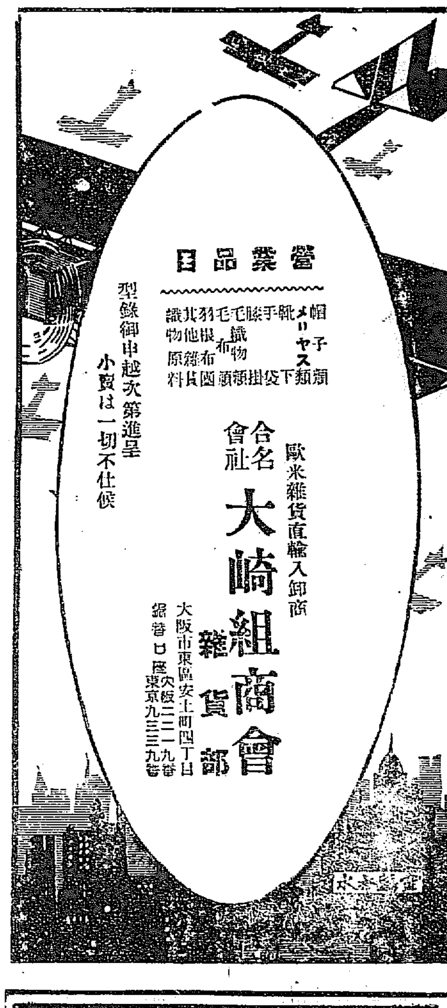
▲第一回の使用……ユーマーを唯の一度お用ひになるたけでも。其の一日の顔色の美しさ、氣持の好さは何とも申されません。ユーマーのこの作用はどなたにもよく分りそしてお氣に召されます。

▲二回、三回、四回……度重なるにつれユーマーは彌々巧妙の作用を現します。皮膚が軟やかに肌理が整ひ、いつ見ても見るから氣持のよい、鮮かに美しい顔色は誠に美しさの頂上で御座います。

▲化粧下と荒れ止……この外にも、ユーマーが化粧下として此上なく好い事及び荒れを防ぐ効用と日焼けを防ぐ効用の優れてゐる事はお用ひになつた方々の御承知の事で御座います。ユーマーはこれで一層重寶なものとなつて居ります。



顔美顔化粧料三十六種を創製したる
桃谷研究試驗所
所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
同 醫學士 米倉昌逸
同 千葉藥學士 小磯勝次郎
同 藥學士 齋藤鉄助
顧問 藥學博士 丹波敬三氏
同 醫學博士 山本淳二氏



人參ニ優ル强壯劑
淫羊藿エキス
通稱三枝九葉草エキス

適應症
一、思考判斷及び記憶力を強くし
二、讀書計算の疲勞を癒す
三、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
四、産前産後及病後の衰弱
五、血の道氣鬱症
六、子なき人に良し
七、貧血症病を癒し容貌を良す
八、手足腰の冷ゆるに良し
九、陰萎遺精及子宮病に良し

主効
神經衰弱 脳病 貧血症 腎臟病 肝臟病 腺 生殖器病 ヒステリー リウマチス ヒポコンデリー 老衰 精力減退

定價
二十瓦入 壹圓
三十瓦入 壹圓五拾錢
四十五瓦入 壹圓九拾錢
五十瓦入 貳圓參拾錢
送料 鮮内二錢 鮮外廿錢

全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
京城特約店 山北 岸 天佑 支 宮 店